

第1学年 国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を養う。 (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。〔知識及び技能〕 (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	国語1（光村図書） 新編新しい書写1・2・3年用（東京書籍）
副教材	E 漢字（とうほう） よくわかる中学国文法（吉野教育図書） 国語便覧（浜島書店）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以下の事項について、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項（漢字、語彙、文等のきまり、表現技法等） (2)情報の扱い方に関する事項（文章や資料等の関係を理解や整理等） (3)我が国の言語文化に関する事項（伝統的な言語文化や書写等）	各単元の中で設定されている「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を通して、既習の知識や技能等を適切に活用したり、複数の知識や技能等を結び付けたりしながら、学習課題や自分なりの問いに対して、考えたり、判断したり、表現したりしている。	各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、最後まで粘り強く学習しようとしている。
・テスト（定期、単元、技能等） ※技能テスト：音読、スピーチ、書写作品等 ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・テスト（定期、単元等） ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

3 学習についてのアドバイス

学 校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・文章を読む際には、内容や構造等を捉え、自分の考えを深めていくようにしましょう。 ・学習の記録（ノート等）は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	・授業に入る前には、教材文を繰り返し読み、新しい漢字や分からない言葉を調べましょう。 ・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・自分が興味をもった本を中心に計画的に本を読むようにしましょう。 ・学校で学んだことをワーク等で復習をすることで、確かな力にしましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	オリエンテーション・自己紹介 野原はうたう（読・言語） 原稿用紙の正しい使い方／ 用言と共通語（書・言語） ダイコンは大きな根？（読）	・国語の学習の仕方、副教材について知る。 ・詩の特徴と、作者の込めた感動や工夫を知る。 ・原稿用紙に作文する場合のルールを覚える。 ・説明文でつける力を確認する。
5	ちょっと立ち止まって（読） シンシュン／空中ブランコ乗りのキキ（読・言語） 情報を的確に聞き取る（書） 漢字の組み立てと部首（言語）	・接続語と指示語に注意しながら、資料と文章の関係、用紙のまとめ方を知る。 ・場面の展開に沿って、登場人物の関係の変化を捉えると同時に、人物像を考える。 ・情報の聞き取り方や整理の仕方などを理解する。 ・漢字の部首を理解する。
6	文法1（言語） 話の構成を工夫しよう（話・聞） 情報を集めよう／情報を読み取ろう／ 情報を引用しよう（情） 詩の世界（読） 比喩で広がる言葉の世界（読・言語）	・段落のまとまりに着目し、文章の要旨を捉える。 ・言葉の単位について理解する。 ・筆者の主張と事例との関係を理解する。 ・説得力のある文章について理解する。 ・情報の集め方や活用のしかたを理解する。 ・詩の表現から情景や心情を把握する。 ・詩によく使われる主な技法を知る。
7	読書を楽しむ（読・言語） 読書感想文の書き方（書・言語）	・様々な本に触れる楽しさを味わう。 ・読書感想文の書き方の基本を覚える。 ・実際に読書感想文を書く。
9	大人になれなかった弟たちに……（読） 蓬萊の玉の枝——「竹取物語」から（読） 今に生きる言葉（読）	・描写を基に登場人物の行動や心情の変化を捉える。 ・仮名遣いに注意しながら音読し、古典のリズムを通してその世界に親しんだり、登場人物の関係や思いに着目して読んだりする。 ・漢文の基礎と、故事成語について知る。
10	文法2（言語） 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ（読） 思考のレッスン2 原因と結果（言語） 【話し合い】話し合いの展開を捉える（話・聞） 根拠を示して説明しよう（書）	・主語・述語・修飾語などの分の成分の見分け方を覚える。 ・筆者の意見と根拠、文章の構成や展開の効果について考える。 ・原因と結果、意見と根拠などの関係について理解する。 ・意見と根拠などの関係を理解し、話し合う。 ・相手や目的に合わせて情報を選び、整理し、伝える。 ・根拠について考え、説得力のあるレポートを書く。
11	音読を楽しもう 大阿蘇（読） ミミコの独立（読・言語） 「不便」の価値を見つめ直す（読） 文法3（言語）	・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ・詩そのものを理解する面白さを味わい、詩に込められた作者の心情を理解する。 ・必要な情報を取り出し、結び付いて要約するとともに、それに対する自分の考えをもつ。 ・文節同士の関係・連文節などを知る。
12	漢字の音訓（言語） 漢字の成り立ち 毛筆[楷書・行書]（言語）	・漢字に読みと訓読みがある理由と見分け方を理解する。 ・漢字のでき方を知る。 ・楷書の基礎を覚え、字形・大きさ・配列を意識して書く。
1	随筆二編（読） 大仏様は「にっこり」しています。（読） 少年の日の思い出（読） 方言のクッション（読）	・随筆というジャンルの特徴を知る。 ・作者のそれとなく伝えたい内容を把握する。 ・状況の変化、登場人物の心情をとらえると同時に、語り手の勝手な思いが込められた表現に気づく。
2	星の花が降るころに（読）	・ちょっとしたセリフから登場人物の心情を推察する。 ・書く内容が明確になるように構成や描写を考えて書く。
3	1年間の学びを振り返ろう（話・聞）（書） さくらの はなびら（読）	・一年間の学習の中から観点を決め、材料を集めて整理し、自分の考えを分かりやすく伝える。

※書写は、国語科の授業の中で年間20時間程度行われます。以下は、年間を通じた学習目標です。

- ・字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書く。
- ・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く。

第2学年 国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を養う。 (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。〔知識及び技能〕 (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関りの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	国語2（光村図書） 新編新しい書写1・2・3年用（東京書籍）
副教材	国語の学習（明治図書） 学習漢字ノート（浜島書店） すらすら基本文法（浜島書店）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以下の事項について、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項（漢字、語彙、文等のきまり、表現技法等） (2)情報の扱い方に関する事項（文章や資料等の関係を理解や整理等） (3)我が国の言語文化に関する事項（伝統的な言語文化や書写等）	各単元の中で設定されている「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を通して、既習の知識や技能等を適切に活用したり、複数の知識や技能等を結び付けたりしながら、学習課題や自分なりの問いに対して、考えたり、判断したり、表現したりしている。	各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、最後まで粘り強く学習しようとしている。
・テスト（定期、漢字、技能等） ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート、レポート、作品等）	・テスト（定期、単元等） ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート、レポート、作品等） ・振り返り（自己調整シート）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・文章を読む際には、内容や構造等を捉え、自分の考えを深めていくようにしましょう。 ・学習の記録（ノート等）は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	・授業に入る前には、教材文を繰り返し読み、新しい漢字や分からない言葉を調べましょう。 ・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・自分が興味をもった本を中心に計画的に本を読むようにしましょう。 ・学校で学んだことをワーク等で復習をすることで、確かな力にしましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	見えないだけ（読） アイスプラネット（読） 問いを立てながら聞く（話・聞）	・言葉に対する感覚を磨き語彙を豊かにする。 ・登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して読む。 ・人物どうしの関係や、それぞれの考え方を読み取る。 ・筋道が通っているかどうかを考えながら聞く。
5	枕草子（読） 情報整理のレッスン/思考の視覚化（情） 多様な方法で情報を集めよう（書） 熟語の構成（知・技）	・作者の四季に対するものの見方や感じ方に触れる。 ・様々な情報を整理し、その関係を図で表す。 ・収集した情報を整理し、伝えたいことを明確にして書く。 ・熟語の組み立て方のきまりを知り、興味を持つ。
6	クマゼミ増加の原因を探る（読） 思考のレッスン1 具体と抽象（情） 魅力的な提案をしよう（話・聞） メディアを比べよう（情） メディアの特徴を生かして情報を集めよう/ 「自分で考える時間」をもとう（情）	・文章の構成や展開について、理解を深める。 ・文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読む。 ・具体と抽象の関係について理解する。 ・話の構成を工夫したり、資料などを使ったりしながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように話す。 ・文章を比較し、文章の構成や論理の展開、表現の効果について理解する。
7	文法への扉1 単語をどう分ける？（知・技） 短歌に親しむ/短歌を味わう（読） 言葉の力（読） 類義語・対義語・多義語（知・技） 読書を楽しむ/翻訳作品を読み比べよう（読書）	・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。 ・情景などを表す多様な語句に着目し、語感を磨く。 ・本や文章には、さまざまな考え方が書かれていることを知る。 ・類義語・対義語・多義語の意味や用法を理解する。 ・本や文章などを通じて知りえたことを、今後の読書に生かす。
9	字のないはがき（読） 聞き上手になろう（話・聞） 表現を工夫して書こう（書） 〔推敲〕表現の効果を考える（書） 敬語（知・技） 同じ訓・同じ音をもつ漢字（知・技）	・登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、作品に与える印象を考えたり、人柄や心情を読み取ったりする。 ・随筆の味わい方を知り、日常の読書に生かす。 ・話の展開に注意して相手の思いや考えを受け止め、質問する。 ・相手や目的に応じて、伝えたいことが伝わるよう表現を工夫する。 ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめ、文章を整える。 ・敬語のはたらきや種類について理解し、適切に使う。
10	モアイは語る（読） 思考のレッスン2 根拠の吟味（情） 根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く（書） 〔討論〕異なる立場から考える（話・聞）	・意見を裏づけるための、適切な根拠のあり方について理解する。 ・自分の考えと比べながら、文章の構成や論理の展開を吟味する。 ・根拠に説得力があるかどうかを吟味する。 ・自分の意見が効果的に伝わる文章を書く。 ・異なる立場を尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる。
11	立場を尊重して話し合おう（話・聞） 月夜の浜辺（読） 扇の的/仁和寺にある法師（読） 漢詩の風景（読）	・立場を明確にして、適切な根拠とともに意見を述べる。 ・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ・作品の特徴を生かし朗読し、古典の世界に親しむ。 ・古典の文章を朗読してその表現に慣れ、作品を読み味わう。 ・漢詩を朗読し、独特の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。
12	君は「最後の晩餐」を知っているか（読） 「最後の晩餐」の新しさ（読） 文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。（知・技）	・文章の構成における具体と抽象の関係を理解する。 ・文章の構成や表現の効果を理解する。 ・動詞、形容詞、形容動詞の活用について理解する。
1	魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く（書） 研究の現場によろこ（読書） 走れメロス（読）	・魅力が読み手に伝わるように、表現の効果を考えて書く。 ・本や文章などを通じて知りえたことを、今後の読書に生かす。 ・抽象的な概念を表す語句が、作品に与える印象を考える。 ・作品を読み味わい、人間の生き方や考え方について自分の考えを持つ。
2	構成や展開を工夫して書こう（書） 国語の学びを振り返ろう（話・聞）（書）	・これまでの学習を振り返り、文章の構成や展開について理解を深めるとともに、場面の展開が明確になるように、構成を工夫する。

		・構成や表現を工夫し、わかりやすく情報を伝える。
3	木（読） 文法への扉 3 一字違いで大違い（知・技） 送り仮名（知・技）	・抽象的な概念を表す言葉などに着目して詩を読む。 ・助詞、助動詞の意味、用法を理解する。 ・送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりしている。

※書写は、国語科の授業の中で年間 20 時間程度行われます。以下は、年間を通じた学習目標です。

- ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。
- ・目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書く。

第3学年 国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を養う。 (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。〔知識・技能〕 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。〔思考・判断・表現〕 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。〔主体的に学習に取り組む態度〕
教科書	国語3（光村図書） 新編新しい書写1・2・3年用（東京書籍）
副教材	国語の学習3（明治図書） 3年の図解文法（学法社） 入試漢字ドリル（正進社） 漢字マスター3（学宝社） 国語便覧

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以下の事項について、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項（漢字、語彙、文等のきまり、表現技法等） (2)情報の扱い方に関する事項（文章や資料等の関係を理解や整理等） (3)我が国の言語文化に関する事項（伝統的な言語文化や書写等）	各単元の中で設定されている「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を通して、既習の知識や技能等を適切に活用したり、複数の知識や技能等を結び付けたりしながら、学習課題や自分なりの問いに対して、考えたり、判断したり、表現したりしている。	各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、最後まで粘り強く学習しようとしている。
・テスト（定期、単元、技能等） ※技能テスト：音読、スピーチ、書写作品等 ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・テスト（定期、単元等） ・授業の活動や内容 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等）	・授業の活動や内容 ・指導に対する成果物（ノート、レポート、作品等） ・振り返り

3 学習についてのアドバイス

学 校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞き、自分の考えと比較しながら考えましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・文章を読む際には、内容や構造等を捉え、自分の考えを深めていくようにしましょう。 ・学習の記録（ノート等）は、工夫して丁寧にまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	・授業に入る前には、教材文を繰り返し読み、新しい漢字や分からない言葉を調べましょう。 ・教科書等を参考にして、何を学習するのか整理し、自分の考えをまとめておきましょう。 ・自分が興味をもった本を中心に計画的に本を読むようにしましょう。 ・ワークやiプリ等を活用し、復習をすることで、学校で学んだことを定着させましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	オリエンテーション・自己紹介 海の風景／詩の表現技法 世界はうつくしいと（読） 握手（読） 原稿用紙の使い方 文法の復習 「聞く」評価しながら聞く（話・聞）	・国語の学習や副教材について知る。 ・詩で用いられる主な表現技法を確認する。 ・言葉に対する感覚を磨き語彙を豊かにする。 ・登場人物の言動を表す語句に着目し、その意味を考える。 ・原稿用紙の使い方を理解し、実際に作文を書く。 ・作品の展開を踏まえて、その生き方について考えを深める。 ・文の成分や言葉の種類などについて確認する。 ・話を聞くときは、内容や表現のしかたを評価しながら聞く。
5	学びて時に之を習ふ（読） 情報整理のレッスン 情報の信頼性（情） 文章の種類を選んで書こう（書） 熟語の読み方（知・技）	・歴史的背景に注意して「論語」を読み、長く受け継がれてきた名言に触れる。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解する。 ・内容に適した文章の種類を選び、構成を工夫して書く。
6	作られた「物語」を超えて（読） 思考のレッスン1 具体化と抽象化（情） 説得力のある構成を考えよう（話・聞） リオの伝説のスピーチ（話・聞） 実用的な文章を読もう／報道文を比較して読もう（情）	・文章における具体と抽象の関係を捉える。 ・論説の特性を踏まえ、文章の構成や論理の展開を評価する。 ・具体と抽象の関係の理解を深める。 ・相手を説得できるように、話の構成を工夫する。 ・文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価する。
7	文法への扉1（知・技） 俳句の可能性/俳句を味わう（読） 和語・漢語・外来語（知・技） 読書を楽しむ/「私の一冊」を探しにいこう（読書）	・俳句の特徴について、理解を深める。 ・内容や表現のしかたに着目し、俳句を評価しながら読み深める。 ・言葉の種類とその特徴について理解する。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりする。
9	挨拶－原爆の写真によせて（読） 故郷（読） 聞き上手になろう（話・聞） 「推敲」論理の展開を整える（書） 慣用句・ことわざ・故事成語（知・技）	・比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考える。 ・小説を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。 ・相手の話の展開を予測しながら聞き、質問で話を引き出す。 ・論理の展開や内容に関わる点に着目して、文章を整える。
10	人口知能の未来（読） 人間と人工知能と創造性（読） 多角的に分析して書こう（書） 「議論」話し合いを効果的に進める（話・聞）	・文章を批判的に読み、自分の意見をもつ。 ・表現のしかたを考えたり資料を引用したりして、説得力のある文章を書く。 ・どのような話題について、どのような順序で話し合えばよいかを考え、効果的な話し合いの進め方について理解する。
11	合意形成に向けて話し合おう（話・聞） 音読を楽しもう 初恋（読） 君待つと－万葉・古今・新古今（読） 夏草－「おくのほそ道」から（読）	・立場や考え方の違いを認め、互いの考えを生かしながら、合意形成に向けて話し合う。 ・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ・詠まれた状況や歴史的背景を理解し、和歌の世界に親しみ、表現の効果などについて考える。
12	誰かの代わりに（読） 情報を読み取って文章を書こう（書） 文法への扉2（知・技） 本は世界への扉（読書） 書写	・筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。 ・論理展開などについて推敲したり助言したりして、よりよい文章にする。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりする。
1	温かいスープ（読） わたしを束ねないで（読）	・国際社会における人と人との関係について、考えを深める。 ・詩の中の言葉や表現から作品のもつメッセージを捉える。
2	三年間の歩みを振り返ろう（話・聞）（書）	・3年間の学びを振り返り、テーマを決める。
3		・場の状況によって言葉を選び、自分の考えをわかりやすく伝える。

※書写は、国語科の授業の中で年間10時間程度行われます。以下は、年間を通じた学習目標です。

- ・身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。

第1学年社会科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。 (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
教科書	社会科 中学生の地理 (帝国書院)、新しい社会 歴史 (東京書籍)、地図帳 (帝国書院)
副教材	社会の完全学習地理 1 (正進社)、社会の完全学習歴史 1 (正進社)、

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【地理】 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【歴史】 我が国の中世までの歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	【地理】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている 【歴史】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	【地理】 世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 【歴史】 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
定期テスト、単元テストや小テスト ※「知っている・できる」レベルだけでなく、「わかる」レベルの概念的理解を問う問題 単純な技能をはかる実技テスト など	定期テスト、単元テストや小テスト ※「わかる」レベルの思考を問う問題や、「使える」レベルの思考を意識した記述問題 複数の技能を組み合わせた実技テスト パフォーマンス課題などの課題 ノート・ポートフォリオなどの記述 授業中の発言 など	授業中の活動や発言 ノート・ポートフォリオなどの記述 パフォーマンス課題などの課題 など

※発言…言語活動を通して、話題や相手の話をもとに、思考しながら話をしたり、意見を述べたりすること

※パフォーマンス課題…思考のみならず、粘り強く考える意欲や、見方・考え方を働かせて考えようとする知的態度などが試されるような課題

3 学習についてのアドバイス

学 校	・自分の考えをしっかりと発信しましょう。その際には、資料や今までの学習などの根拠をもとに、理由もふまえながらの発信に心がけましょう。 ・他の人の考えにしっかりと耳を傾けましょう。その際には、自分の考えと比較し、同じところや違うところを考えながら、自分の考えを再構築しましょう。 ・「問い」の意識をもち、他の人の考えを聞いたり、地図帳や資料を積極的に使ったりしながら、学習を深めていきましょう。 ・ノートへは、自分の気づきや学習のポイントだと考えるところを積極的に書きましょう。
家 庭	・新聞やテレビから、社会で起こっている出来事を知り、授業で学習した内容との関連を見いだすとともに、現在進行的な社会事象への関心を高めましょう。 ・学習した内容に関連する資料を集めたり、調べものをしたりして、追究を深めましょう。 ・ノートやワーク、i プリ等を利用して、予習や復習をする習慣をつけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	④【世界と日本の地域構成】 (地) 世界の姿	・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解する。 ・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
5	(地) 日本の姿 ④【世界のさまざまな地域】 (地) 人々の生活と環境	・我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解する。 ・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ・日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
6	④【世界の諸地域】 (地) アジア州 (地) ヨーロッパ州	・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。 ・アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解する。
7	(地) アフリカ州	・アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリ

9	(地) 北アメリカ州 (地) 南アメリカ州	加州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。
10	(地) オセアニア州 ※世界の各国・諸地域の情勢によって、各州の学習順が入れかわることがあります。 ④【日本のさまざまな地域】 (地) 身近な地域の調査	・世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。 ・観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解する。 ・地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付ける。 ・地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
11	(歴)【歴史へのとびら】 (歴) 歴史をとらえる見方・考え方 (歴) 身近な地域の歴史	・年表の読み取りを通して、年代の表し方や時代区分についての基本的な意味や意義を理解する。 ・身近な地域の歴史について、自ら目標を定め、課題の解決に向けて主体的に学習する態度を身に付ける。
	(歴)【古代までの日本】 (歴) 世界の古代文明と宗教のおこり	・人類が進化してきた過程や、人類の特徴を理解する。 ・古代文明がおこった地域の特徴を考察し、表現する。 ・ギリシャ・ローマの文明が、現在のヨーロッパ文化と深く結びついていることに気付く。 ・古代の宗教のおこりについて、その概略を理解する。
	(歴) 日本列島の誕生と大陸との交流	・縄文時代の人々の生活の様子を、考古学の成果を活用しながら具体的に理解する。 ・日本の国家が形成されていく過程のあらましを、東アジアとの関わりを通して捉える。 ・様々な資料を通して、日本と中国・朝鮮半島との交流について気付く。
12	(歴) 古代国家の歩みと東アジア世界	・正倉院の宝物や地図から、中国、西アジアやインドなどの影響が見られることに気付く。 ・平安遷都の理由や意義、平安時代初めの政治の特色について理解する。 ・藤原氏が行った摂関政治の特徴について理解する。 ・代表的な事例を通して、国風化した文化の特色を理解する。

1	(歴) 【中世の日本】 (歴) 武士の政権と成立	・武士が次第に勢力を広げたことを、都や地方で起きた戦乱の様子などから理解する。 ・荘園と公領からなる新しい土地制度の広がり、武士の成長との関連を捉える。 ・院政の特色を、摂関政治と比較して理解する。 将軍や執権と御家人の関係に着目して、武家政権の特色を考察し、表現する。 ・鎌倉時代の武士の生活の様子を、絵巻物や文書資料などを通して捉える。 ・代表的な事例を通して、鎌倉時代の文化の特色を理解する。
2	(歴) ユーラシアの動きと武士の政治の展開	・モンゴル帝国の成立過程や文化について、その特徴を理解する。 ・鎌倉幕府が滅亡した理由を、モンゴルの襲来の影響や社会の変化から考察し、表現する。 ・建武の新政から南北朝の動乱に至る経過を理解する。
3		・室町幕府と鎌倉幕府の仕組みを比較して、その特徴を捉える。 ・琉球や蝦夷地の人々の交流や結び付きを理解する。 ・農業や商業・手工業などが発達し、民衆の力が伸びてきたことを理解する。 ・戦国大名の登場とその支配について、応仁の乱や下剋上の状況から考察し、表現する。 ・代表的な文化財を取り上げて、室町時代の文化の特色を理解する。

第2学年社会科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。 (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
教科書	社会科中学生の地理（帝国書院）新しい歴史（東京書籍）、地図帳（帝国書院）
副教材	社会の自主学習地理2（新学社）、地理の資料（正進社） 社会の自主学習歴史2・3（新学社）、学び考える歴史（浜島書店）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【地理】 我が国の国土及び日本の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【歴史】 我が国の近世から近代の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	【地理】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 【歴史】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	【地理】 日本の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 【歴史】 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
定期テスト、単元テストや小テスト ※「知っている・できる」レベルだけでなく、「わかる」レベルの概念的理解を問う問題 単純な技能をはかる実技テスト など	定期テスト、単元テストや小テスト ※「わかる」レベルの思考を問う問題や、「使える」レベルの思考を意識した記述問題 複数の技能を組み合わせた実技テスト パフォーマンス課題などの課題 ノート・ポートフォリオなどの記述 授業中の発言 など	授業中の活動や発言 ノート・ポートフォリオなどの記述 パフォーマンス課題などの課題 など

※発言…言語活動を通して、話題や相手の話をもとに、思考しながら話をしたり、意見を述べたりすること

※パフォーマンス課題…思考のみならず、粘り強く考える意欲や、見方・考え方を働かせて考えようとする知的態度などが試されるような課題

3 学習についてのアドバイス

学 校	・自分の考えをしっかりと発信しましょう。その際には、資料や今までの学習などの根拠をもとに、理由もふまえながらの発信に心がけましょう。 ・他の人の考えにしっかりと耳を傾けましょう。その際には、自分の考えと比較し、同じところや違うところを考えながら、自分の考えを再構築しましょう。 ・「問い」の意識をもち、他の人の考えを聞いたり、地図帳や資料集を積極的に使ったりしながら、学習を深めていきましょう。 ・ノートへは、黒板に書かれたことだけではなく、自分の気づきや学習のポイントだと考えるところを積極的に書きましょう。
家 庭	・新聞やテレビから、社会で起こっている出来事を知り、授業で学習した内容との関連を見いだすとともに、現在進行的な社会事象への関心を高めましょう。 ・学習した内容に関連する資料を集めたり、調べものをしたりして、追究を深めましょう。 ・ノートやワーク、i プリ等を利用して、予習や復習をする習慣をつけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	㊦【日本のさまざまな地域】 (地) 日本の地域的特色	・日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解する。 ・少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解する。 ・日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解する。 ・国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解する。 ・「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解する。 ・日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付ける。 ・「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
5	㊦日本の諸地域 (地) 九州地方	・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解する。
6	(地) 中国・四国地方	
7	(地) 近畿地方	
	(地) 中部地方	
	(地) 関東地方	・次の(1)から(5)までの考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 (1) 自然環境を中核とした考察の仕方、(2) 人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、(3) 産業を中核とした考察の仕方、(4)

7 9	(地) 関東地方 (地) 東北地方 (地) 北海道地方 ※日本の各諸地域のその時々状況によって各地方の学習順が入れかわることがあります。	交通や通信を中核とした考察の仕方、(5)その他の事象を中核とした考察の仕方 ・日本の諸地域において、それぞれ上の(1)から(5)までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
10	(地) 地域の在り方を考える	・地域の実態や課題解決のための取組を理解する。 ・地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解する。 ・地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする。
11	(歴) 【近世の日本】 (歴) ヨーロッパ人との出会いと全国統一	・古代のローマ帝国と比較して、ローマ帝国の分裂とそれに伴うキリスト教会の分裂を理解する。 ・ルネサンスと宗教改革を通して、ヨーロッパ世界の変化の様子を理解する ・主にアジアとイスラム商人との関係から、ヨーロッパ人が海外に進出した理由を考察し、表現する。 ・掲載資料から、鉄砲とキリスト教が日本の社会に広まった様子を捉える ・織田信長と豊臣秀吉によって全国が統一されたことを理解する。 ・太閤検地と刀狩によって、社会がどのように変化したのかを考察し、表現する。 ・ヨーロッパ人の来航によって生まれた文化の様子とその影響を理解する。
12	(歴) 江戸幕府の成立と対外政策 (歴) 産業の発達と幕府政治の動き	・約260年続く平和な時代が生まれた理由を考える。 ・江戸時代の政治制度のあらましと、幕府による大名や朝廷の統制について、大名配置や武家諸法度などの資料から理解する。 ・江戸時代の身分制度と武士、百姓、町人それぞれの職分や生活の様子を理解する。 ・百姓や町人とは別に、差別された身分の人々がいたことの意味を捉える。 ・江戸幕府の対外政策の変化について年表などから調べ、貿易の振興から鎖国へと方針を変えた理由を考察し、表現する。 ・長崎でのオランダ・中国との貿易について理解する。 ・琉球との関係について理解する。 ・アイヌの人々との関係を理解する。 ・農業の進歩や諸産業の発達の様子を調べ、そのあらましを理解する。

1		・交通路が整備され、三都をはじめとする都市が発展したことを理解する。 ・文学や浮世絵の作品などからこの時期の文化の特色を理解する。 ・幕藩体制の基盤がゆらぎ、百姓一揆が起きたことを理解する。 ・国学と蘭学の発達や化政文化の特色について調べ、社会の動きとの関連を考察し、表現する。 ・外国船の接近とそれに対する幕府の対応について理解する。 ・浮世絵から江戸時代の人々の関心や生活の様子について理解する。
	(歴) 【開国と近代日本の歩み】	・イギリスとアメリカで近代民主政治への動きが生まれたことに気づき、現代の政治とのつながりを捉える。 ・フランスで近代民主政治への動きが生まれたことに気づき、現代の政治とのつながりを捉える。 ・徴兵制や義務教育、政治参加を通じて、国民として一体感が高まったことを理解する。 ・ロシアとアメリカ合衆国が発展する過程で、さまざまな問題を抱えていたことを捉える。 ・イギリスから産業革命と資本主義社会が広がっていく過程を理解する。
	(歴) 欧米における近代化の進展	
	(歴) 欧米の進出と日本の開国	
2		・イギリスを中心とする欧米諸国が、工業製品の市場や原料の供給地を求めてアジアへ進出した過程を理解する。 ・ペリー来航から日米修好通商条約の締結までの過程、不平等な内容について考察し、表現する。 ・開国によって、日本の政治や経済はどのように変化したのかを捉える。 ・開国による政治的及び社会的な影響が、明治維新への動きを生み出したことを捉える。
	(歴) 明治維新	・新政府の方針や諸改革の内容、中央集権国家の体制が確立していったことを理解する。 ・新政府が行った学制・兵制・税制の改革の具体的な内容を理解する。 ・明治維新の三大改革が人々の生活に及ぼした影響について考察し、表現する。 ・新政府が行った富国強兵・殖産興業政策の具体的な内容を理解する。 ・岩倉使節団の目的と帰国後の近代化への影響、明治初期の外交政策について捉える。 ・領土の確定について、近代的な国際関係の下で、新政府が行った外交政策を理解する。 ・竹島、北方領土、尖閣諸島が日本固有の領土になった時期や経緯と、日本政府の見解を理解する。 ・自由民権運動が始まった経緯や、改革への不満から士族の反乱が起きた過程を理解する。 ・議会政治が始まったことの歴史的意義や、現代の政治とのつながりを考察し、表現する。
3		

第3学年社会科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。 (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
教科書	新しい社会 歴史（東京書籍）、中学社会公民的分野（日本文教出版）、地図帳（帝国書院）
副教材	学び考える歴史（浜島書店）、社会の自主学習：歴史2・3（新学社）、公民の完全学習（正進社）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【歴史】 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【公民】 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	【歴史】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 【公民】 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	【歴史】 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 【公民】 現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
定期テスト、単元テストや小テスト ※「知っている・できる」レベルだけでなく、「わかる」レベルの概念的理解を問う問題など	定期テスト、単元テストや小テスト ※「わかる」レベルの思考を問う問題や、「使える」レベルの思考を意識した記述問題 複数の技能を組み合わせた実技テスト パフォーマンス課題などの課題 ポートフォリオなどの記述 授業中の発言 など	定期テスト、単元テストや小テスト 授業中の活動や発言 ポートフォリオなどの記述 パフォーマンス課題などの課題 など

※発言…言語活動を通して、話題や相手の話をもとに、思考しながら話をしたり、意見を述べたりすること

※パフォーマンス課題…思考のみならず、粘り強く考える意欲や、見方・考え方を働かせて考えようとする知的態度などが試されるような課題

3 学習についてのアドバイス

学 校	・自分の考えをしっかりと発信しましょう。その際には、資料や今までの学習などの根拠をもとに、理由もふまえながらの発信に心がけましょう。 ・他の人の考えにしっかりと耳を傾けましょう。その際には、自分の考えと比較し、同じところや違うところを考えながら聞きましょう。 ・「問い」の意識をもち、他の人の考えを聞いたり、様々な資料を積極的に使ったりしながら、学習を深めていきましょう。 ・ノートへは、黒板に書かれたことだけではなく、自分の気づきや学習のポイントだと考えるところを積極的に書きましょう。
家 庭	・新聞やテレビから、社会で起こっている出来事を知り、授業で学習した内容との関連を見いだすとともに、現在進行的な社会事象への関心を高めましょう。 ・学習した内容に関連する資料を集めたり、調べものをしたりして、追究を深めましょう。 ・ノートやワーク、i プリ等を利用して、予習や復習をする習慣をつけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	(歴) 明治維新	・新政府の方針や諸改革の内容、中央集権国家の体制が確立していったことを理解する。 ・新政府が行った学制・兵制・税制の改革の具体的な内容を理解する。 ・明治維新の三大改革が人々の生活に及ぼした影響について考察し、表現する。 ・新政府が行った富国強兵・殖産興業政策の具体的な内容を理解する。 ・岩倉使節団の目的と帰国後の近代化への影響、明治初期の外交政策について捉える。 ・領土の確定について、近代的な国際関係の下で、新政府が行った外交政策を理解する。 ・竹島、北方領土、尖閣諸島が日本固有の領土になった時期や経緯と、日本政府の見解を理解する。 ・自由民権運動が始まった経緯や、改革への不満から士族の反乱が起きた過程を理解する。 ・議会政治が始まったことの歴史的意義や、現代の政治とのつながりを考察し、表現する。
	(歴) 日清・日露戦争と近代産業	・欧米諸国の植民地獲得競争、日清戦争に至るまでの背景としての東アジアの情勢を理解する。 ・下関条約の内容に関心を持ち、戦後のアジアの国際関係や国内情勢

5		を捉える。 ・日露戦争について、戦争の規模や国内外の反応を様々な視点から考察し、表現する。 ・産業革命によって、都市や農山漁村の生活に大きな変化が生じたことを捉える。 ・明治時代の文化は、どのような特色を持っていたのかを考察し表現する。
5	(歴) 【二度の世界大戦と日本】 (歴) 第一次世界大戦と日本 (歴) 大正デモクラシーの時代	・二度の世界大戦とその間の出来事について、世界の動きと関連させながら、概要を理解する。 ・二度の世界大戦のころの日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し、知識を身につける。 ・表やグラフなどを用いて、客観的な統計から、当時の情勢を読み取る。 ・写真や日記、記録などの資料を活用し、当時の国民の生活の様子を読み取る。
6	(歴) 世界恐慌と日本の中国侵略 (歴) 第二次世界大戦と日本 (歴) まとめ	・各国の動きについて、公正に判断し、自分の意見を述べる。 ・日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べる。 ・二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身に付ける。 ・戦争体験者など、当時を知っている方々に話を聞く機会を、意欲的に利用しようとする。
	(歴) 【現代の日本と私たち】 (歴) 戦後日本の出発 (歴) 冷戦と日本の発展 (歴) 新たな時代の日本と世界	・第二次世界大戦後に行われた日本の諸改革により、日本はどのように再建を遂げていったのかを、苦しい状況の中、男女普通選挙の確立や、日本国憲法などを制定し民主化政策を進め、冷戦の中、国際社会の復帰を果たしたことなどを基に理解する。 ・現代の日本の役割が国際社会で大きくなってきたことを、高度経済成長や沖縄返還などの国際社会との関わりの深まり、冷戦終結後の世界情勢を基に理解する。
7		・戦後の日本の歩みについて、国内外の様子など様々な事象を関連付けながら、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・現代の日本がどのような特色を持つのかについて、現代の日本の歴史を大観し、その特色を多面的・多角的に考察する。 ・現代の日本の特徴を理解しようと、現代の我々とのつながりに着目しながら、学習の見通しを立て、課題の解決に取り組む。
9	㊤ 【私たちと現代社会】 (公) 私たちが生きる現代社会の特色 (公) 現代社会の文化と私たち (公) 現代社会の見方・考え方 (公) まとめ	・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることを理解する。・現代社会における文化の意義や影響について理解する。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・私たちと現代社会について、現代社会に見られる課題の解決を視

		野に主体的に社会に関わろうとする。
10	㊦【私たちの生活と政治】 個人の尊重と日本国憲法 (公) 法に基づく政治と日本国憲法 (公) 日本国憲法と基本的人権 (公) 日本の平和主義 (公) まとめ	・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解する。 ・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解する。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解する。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・個人の尊重と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
11		
12	㊦【私たちの生活と政治】 国民主権と日本の政治 (公) 民主政治と政治参加 (公) 国の政治のしくみ (公) くらしを支える地方自治 (公) まとめ	・国会を中心とする日本の政治のしくみのあらましや政党の役割を理解する。 ・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方について理解する。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解する。 ・地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に、地方自治の基本的な考え方について理解する。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・国民主権と日本の政治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
12	㊦【私たちの生活と経済】 (公) 経済のしくみと消費生活	・身近な消費生活を中心に経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などのしくみや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の問題について理解する。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解するとともに、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解する。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、
1	(公) 生産の場としての企業 (公) 金融のしくみとお金の大切さ	

2	(公) 財政と国民の福祉 (公) まとめ	個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、表現する。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察・構想し、表現する。 ・私たちの生活と経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
	㊤【私たちと国際社会】 (公) 国家と国際社会 (公) 国際社会の課題と私たちの取り組み	・領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解する。 ・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解する。 ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
3	(公) まとめ	
	㊤【私たちの課題—持続可能な社会をめざして—】	・持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題に関わる基本的な事項について理解している。 ・諸資料から、持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題の解決に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 ・社会的な見方・考え方を働かせ、私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について多面的・多角的に考察・構想し、自分の考えを説明、論述している。 ・私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

第1学年 数学科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。 (1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる数学1（啓林館）
副教材	問題ノート

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。
・定期・小テスト等 ・パフォーマンス（技能）テスト ・授業の様子や発言内容	・定期・小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学校	・これまでに身に付けた知識や考え方を利用して、課題を考える習慣をつけましょう。 ・自分の意見は、具体的に分かりやすく伝えるようにしましょう。 ・他の人の意見を聞くときは、自分の意見と比べながらしっかりと聞きましょう。 ・ノートやテキストには、黒板に書かれたことを写すのではなく、他の人の説明や、自分の考えを書き加えるなどして工夫して書くようにしましょう。
----	--

家庭	・分からない問題や間違えた問題は解答や教科書を参考に、次の授業までに理解できるようにしておきましょう。
	・授業で学習した内容に関連する問題（「ドリルパーク」の標準問題や発展問題、問題ノート）でしっかりと練習するようにしましょう。
	・定期テスト直前にまとめて学習するのではなく、計画的に問題集を進めておきましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	・正の数・負の数 1 0より小さい数 2 正の数・負の数で量を表すこと 3 絶対値と数の大小	(知) 正の数・負の数の必要性和意味を理解し、数直線上に表したり、読み取ったりすることができる。 (思) 反対の性質をもつ量や、ある基準を決めたときの量を表すときの方法を考察し表現することができる。
	・正の数・負の数の計算 1 正の数・負の数の加法、減法 2 正の数・負の数の乗法、除法 3 いろいろな計算 4 数の世界のひろがり	(知) 正の数・負の数の計算の意味を理解し、その計算ができる。 (思) 算数で学習した数の計算と関連付けて、正の数・負の数の計算の方法を考察し表現することができる。
5		
6	・正の数・負の数の利用 1 正の数・負の数の利用	(知) 身近な事象を負の数を用いて表現し、処理することができる。 (思) 身近な事象を数学的に捉え、正の数・負の数を用いて考察し表現することができる。
	・文字を使った式 1 数量を文字で表すこと 2 文字式の表し方 3 式の値	(知) 文字を使うことの必要性和意味を理解し、文字式の約束に従い数量を文字式に表したり、文字式から数量を読み取ったりすることができる。 ・文字式に数を代入して、式の値を求めることができる。 (思) 文字式での数量の関係の表し方や、式が何を意味しているのかについて考察し表現することができる。また、式の値を求める意味を、具体的な場面と関連づけて考察し表現することができる。
7	・文字式の計算 1 文字式の加法、減法 2 文字式と数の乗法、除法 3 関係を表す式	(知) 一次式の意味を理解し、計算ができる。また、数量の関係を等式や不等号で表したり、意味を読み取ったりすることができる。 (思) 一次式の計算の方法を考察し表現することができる。また、文字式の数量関係の表し方や、式の意味を考察し表現することができる。
9	・方程式 1 方程式とその解 2 方程式の解き 3 比と比例式	(知) 方程式の必要性、文字や解の意味を理解し、文字に数を代入し、その数が解であるかを確かめることができる。また、移項の意味を理解し、方程式を解く方法を理解することができる。 (思) 等式の性質をもとにし、方程式を解く方法を考察し表現することができる。また、数や文字式の計算と方程式を解く方法の違いについて考察し表現することができる。
	・方程式の利用 1 方程式の利用 2 比例式の利用	(知) 事象の中の数量やその関係に着目して、方程式や比例式をつくり、その方程式や比例式を解くことができる。 (思) 方程式や比例式を具体的な場面で活用し、求めた解や解決の方法を振り返り、それが適切かどうかを考察し表現することができる。
10	・関数 1 関数	(知) 関数の意味について理解し、具体的な事象の中から、ともなって変わる数量を見つけることができる。 (思) 表やグラフを用いて、変化の様子を調べることができる。
	・比例 1 比例の式	(知) 具体的な事象から、比例の関係を見つけ、文字を用いた式に表すことができる。

	2 座標 3 比例のグラフ	(思) 具体的な事象から、比例の関係を見つけ、その変化をグラフや表を用いて表現することができる。
	・反比例 1 反比例の式 2 反比例のグラフ	(知) 具体的な事象から、比例の関係を見つけ、文字を用いた式に表すことができる。 (思) 具体的な事象から、比例の関係を見つけ、その変化をグラフや表を用いて表現することができる。
11	・比例、反比例の利用 1 比例、反比例の利用	(知) 比例・反比例の関係を利用して、身のまわり問題を、文字を使った式を使って表すことができる。 (思) 比例・反比例としてとらえられる二つの数量について、表、式グラフを用いて調べ、それらの変化と対応の特徴を見いだすことができる。
	・直線と図形 1 直線と図形	(知) 直線や角などについて、用語・記号を使って表すことができる。 (思) 平面における2直線の位置関係を見出し、表現することができる。
	・移動と作図 1 図形の移動 2 基本の作図 3 図形の移動と基本の作図の利用	(知) 図形の移動について理解し具体的な場面で、図形の移動と基本的な作図ができる。 (思) 移動の前後の関係から性質や関係を見いだすことができ、基本的な作図の方法を考察し、統合的にとらえ、表現することができる。
12	・円とおうぎ形 1 円とおうぎ形の性質 2 円とおうぎ形の計量	(知) 弧や弦などの円に関する用語を理解し、円の接線を作図することができる。また、おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 (思) 円の接線の性質から円の接線の方法を考察し表現することができる。また、おうぎ形の弧の長さや面積、中心角の求め方について考察し表現することができる。
1	・立体と空間図形 1 いろいろな立体 2 空間内の平面と直線 3 立体の構成	(知) 角錐、円錐や多面体の意味と、見取り図、展開図、投影図について理解し、どのような立体を表しているのかを読み取ることができる。 ・空間における直線や平面の位置関係を理解している。 ・平面図形や線分の運動によって、どのような立体が構成されるかや、回転体の意味を理解している。 (思) 形や面に着目し、立体の特徴と、見取り図、展開図、投影図を用いて立体の性質を見だし、考察し表現することができる。 ・空間における直線や平面の位置関係について考察し表現することができる。 ・柱体、錐体、球などの立体を、平面図形や線分の運動によって構成されていると捉えることができる。
2	・立体の体積と表面積 1 立体の体積 2 立体の表面積	(知) 立体の体積と表面積の求め方を理解し、求めることができる。 (思) 立体の体積と表面積の求め方について考察し表現することができる。
	・ヒストグラムと相対度数 1 データを活用して、問題を解決しよう 2 整理されたデータから読み取ろう	(知) 目的に応じた資料を収集し、整理することができる。 (思) 整理した資料を読み取り、物事を判断し、説明をすることができる。 ・度数分布表やヒストグラムなどの必要性和意味を理解し、資料の傾向をとらえ、利用することができる。
3	・データにもとづく確率 1 相対度数と確率	(知) 実験などを通して、確率の意味を理解し、身の回りの事象についての確率を求めることができる。 (思) 多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。

※「主体的に学習に取り組む態度」については、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の指導を踏まえ、各単元全体を通して、

- ・学習内容の必要性和意味を考えようとしている。
- ・学習内容について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
- ・学習内容を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。

の観点で評価する。

第2学年 数学科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。 (1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる数学2（啓林館）
副教材	数学問題集2

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 - 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。
- 定期・小テスト等 - パフォーマンス（技能）テスト - 授業の様子や発言内容	- 定期・小テスト等 - 授業の様子や発言内容 - 指導に対する成果物（レポート、作品等）	- 授業の様子や発言内容 - 指導に対する成果物（レポート、作品等） - 振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	- これまでに身に付けた知識や考え方を利用して、課題を考える習慣をつけましょう。 - 自分の意見は、具体的にわかりやすく伝えるようにしましょう。 - 他の人の意見を聞くときは、自分の意見と比べながらしっかりと聞きましょう。 - ノートやテキストには、黒板に書かれたことを写すのではなく、他の人の説明や、自分の考えを書き加えるなどして工夫して書くようにしましょう。
家 庭	- 分からない問題や間違えた問題は解答や教科書を参考に、次の授業までに理解できるようにしておきましょう。 - 授業で学習した内容に関連する問題（「ドリルパーク」の標準問題や発展問題）でしっかりと練習するようにしましょう。 - 定期テスト直前にまとめて学習するのではなく、計画的に問題集を進めておきましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	- 式の計算 - 式の加法、減法 - いろいろな多項式の計算 - 単項式の乗法、除法	(知) 単項式、多項式、次数、同類項の意味を理解し、四則の計算をすることができる。 (思) 単項式や多項式と数の四則の計算の方法を表現することができる。
	- 文字式の利用 - 文字式の利用	(知) 文字式を利用して、数量の関係や数の性質を説明したり、目的に応じて等式を変形したりすることができる。 (思) 数の性質などが成り立つことを、数量及び数量の関係を捉え、文字式を使って説明することができる。
5	- 連立方程式 - 連立方程式とその解 - 連立方程式の解き方	(知) 連立方程式の解き方について理解し、加減法や代入法によって、連立方程式を解くことができる。 (思) 一元一次方程式と関連付けて、連立方程式を解く方法を考察し表現することができる。
6	- 連立方程式の利用 - 連立方程式の利用	(知) 事象の中の数量やその関係に着目して連立方程式をつくり、その連立方程式を解くことができる。 (思) 連立方程式を具体的な場面で活用することができる。
	- 一次関数のグラフ - 一次関数 - 一次関数の値の変化 - 一次関数のグラフ - 一次関数の式を求めること	(知) 一次関数において、変化の割合やグラフの特徴を理解し、与えられた条件から式を求めたり、グラフに表したりすることができる。 (思) 身の回りの事象の中から、一次関数の関係を見いだすことができる。
7		
9	- 一次関数と方程式 - 方程式とグラフ - 連立方程式のグラフ	(知) 連立方程式の解とグラフとの関係を理解し、グラフの交点を求めることができる。 (思) 一次関数のグラフと二元一次方程式のグラフの関係や、連立方程式の解とグラフの関係など、複合的な見方ができる。
	- 一次関数の利用 - 一次関数の利用	(知) 一次関数を活用して問題を解決する方法について理解し、解くことができる。 (思) 事象の中から、2つの数量の関係を見だし、表現し、一次関数を利用して課題解決することができる。
10	- 平行と合同 - 角と平行線 - 多角形の角 - 三角形の合同	(知) 様々な角や平行線の性質、平行線になる条件について理解し、角の大きさを求めることができる。合同な図形の性質や三角形の合同条件について理解することができる。 (思) 図形の性質を、筋道を立てて説明することができる。また、三角形の合同条件を用いて、2つの三角形が合同であるかどうかを考察し、表現することができる。
	- 証明 - 証明とそのしくみ - 証明の進め方	(知) 命題の仮定と結論、証明の進め方について理解することができる。 (思) 図形の性質などを証明するために、見通しを立てて証明をかくことができる。
11	- 三角形 - 二等辺三角形 - 直角三角形の合同	(知) 二等辺三角形の性質、直角三角形の合同条件、定義と定理、逆と反例について理解し、正しく使うことができる。 (思) 三角形の合同条件をもとにして、二等辺三角形の性質や直角三角形の合同条件を論理的に導くことができる。

	・ 四角形	(知) 平行四辺形の性質、平行四辺形になるための条件について理解し、正しく使うことができる。長方形、ひし形、正方形、平行四辺形の定義やそれらの関係を述べることができる。 (思) 三角形の合同条件をもとにして、平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を論理的に導くことができる。平行線と面積の関係に着目して、面積を変えずに別の図形に変形する方法を考えることができる。四角形の性質を具体的な場面で活用することができる。
12	1 平行四辺形の性質 2 平行四辺形になるための条件 3 いろいろな四角形 4 平行線と面積 5 四角形の性質の利用	
1	・ 場合の数と確率	(知) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解することができる。樹形図や表などを利用して、いろいろな場合について確率を求めることができる。 (思) 同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し、表現することができる。確率を用いて、不確定な事象を捉え考察し、表現することができる。
2	1 確率の求め方 2 いろいろな確率 3 確率の利用	
3	・ 箱ひげ図 1 箱ひげ図 2 データを活用して問題を解決しよう	(知) 箱ひげ図や四分位範囲などの必要性和意味を、既習のヒストグラムや代表値などと関連付けて理解することができる。 (思) 問題を解決するために、箱ひげ図や四分位範囲などを用いてデータの傾向をいろいろな視点で考察し、判断することができる。

※「主体的に学習に取り組む態度」については、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の指導を踏まえ、各単元全体を通して、

- {

 - ・ 学習内容の必要性和意味を考えようとしている。
 - ・ 学習内容について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
 - ・ 学習内容を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。

の観点で評価する。

第3学年 数学科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。 (1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる数学3（啓林館）
副教材	問題ノート

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y=ax^2$、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 - 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。
- 定期・小テスト等 - パフォーマンス（技能）テスト - 授業の様子や発言内容	- 定期・小テスト等 - 授業様子や発言内容 - 指導に対する成果物（レポート、作品等）	- 授業の様子や発言内容 - 指導に対する成果物（レポート、作品等） - 振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学校	- これまでに身に付けた知識や考え方を利用して、課題を考える習慣をつけましょう。 - 自分の意見は、具体的にわかりやすく伝えるようにしましょう。 - 他の人の意見を聞くときは、自分の意見と比べながらしっかりと聞きましょう。 - ノートやテキストには、黒板に書かれたことを写すのではなく、他の人の説明や、自分の考えを書き加えるなどして工夫して書くようにしましょう。
----	--

家庭	・分からない問題や間違えた問題は解答や教科書を参考に、次の授業までに理解できるようにしておきましょう。 ・授業で学習した内容に関連する問題（「ドリルパーク」の標準問題や発展問題）でしっかりと練習するようにしましょう。 ・定期テスト直前にまとめて学習するのではなく、計画的に問題集を進めておきましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	・式の展開と因数分解 1. 式の乗法・除法 2. 乗法の公式 3. 因数分解	（知）展開の意味を理解し、多項式と単項式の乗法、除法や多項式どうしの乗法の計算や、乗法の公式を用いた式の展開をすることができる。また、因数及び因数分解の意味を理解し、共通因数をくくり出したり乗法の公式を用いたりして、因数分解することができる。 （思）既に学習した計算の方法と関連づけて、多項式と単項式の乗法・除法の計算の方法や、多項式どうしの乗法の計算をする方法を考察し表現することができる。また、$(a+b)(c+d)$の展開をもとにして、乗法の公式を見だし、それと関連づけて、式を因数分解する方法を考察し表現することができる。
	・式の計算の利用 1. 式の計算の利用	（知）数量及び数量の関係を帰納や類推によって捉え、それを文字式を使って一般的に説明することの必要性和意味を理解している。そして、乗法の公式や因数分解の公式を活用し、目的に応じて式を変形することができる。数や式の値の計算をしたりすることができる。 （思）数や図形の性質などが成り立つことを、数量及び数量の関係を捉え、文字式で説明したり、説明に用いた式の変形等をふり返ったり、数や図形についての新たな性質などを読み取り表現したりすることができる。また、乗法の公式や因数分解の公式を活用して、能率よく数や式の値の計算をする方法を考察し表現することができる。
5	・平方根 1. 平方根 平方根の値 2. 有理数と無理数 3. 真の値と近似値	（知）数の平方根の必要性和意味を理解することができる。 （思）数の平方根の必要性や意味を考察し、表現することができる。
	・根号をふくむ式の計算 1. 根号をふくむ式の乗法、除法 2. 根号をふくむ式の計算	（知）数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができる。 （思）既に学習した計算の方法と関連づけて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができる。
	・平方根の利用 1. 平方根の利用	（知）具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。 （思）数の平方根を具体的な場面で活用することができる。
	・二次方程式 1. 二次方程式とその解き方 2. 二次方程式の解の公式 3. 二次方程式と因数分解	（知）二次方程式とその解の意味を理解し、解の公式や、因数分解を使って、二次方程式を解くことができる。 （思）二次方程式の解の公式を導くことができる。また、因数分解を使って、二次方程式を解く方法を導くことができる。
6	・二次方程式の利用 1. 二次方程式の利用	（知）問題を解決するために、二次方程式を解くことができる。 （思）二次方程式を利用して、問題を解決することができる。
	・関数とグラフ 1. 関数 $y=ax^2$	（知）関数 $y=ax^2$ のグラフとその特徴を理解し、関数 $y=ax^2$ のグラフをかくことができる。
7		
8		
9		

	2. 関数 $y=ax^2$ のグラフ	(思) 関数 $y=ax^2$ のグラフの特徴を表や式と関連付けて考察し、表現することができる。
	- 関数 $y=ax^2$ の値の変化 - 関数 $y=ax^2$ の値の増減と変域 - 関数 $y=ax^2$ の変化の割合	(知) 関数 $y=ax^2$ のとる値の変化の割合について調べ、一次関数との違いがわかる。 (思) 関数 $y=ax^2$ の x の値が変化するときの y の値の増減の様子を考察し表現することができる。
	- いろいろな事象と関数 - 関数 $y=ax^2$ の利用 - いろいろな関数	(知) 具体的な事象の中から見いだした関数関係の中には、既習の比例、反比例、一次関数、関数 $y=ax^2$ 、それらとは異なるものがあることを理解することができる。 (思) 身のまわりに関数 $y=ax^2$ と関わりの深い事象があることを知り、 $y=ax^2$ の関係を利用して、問題を解決することができる。
10	- 図形と相似 - 相似な図形 - 三角形の相似条件 - 三角形の相似条件と証明	(知) 相似な図形の性質を見出し、その関係性を記号を使って表したり、対応する辺の長さや角の大きさを求めたりすることができる。 (思) 三角形の相似条件の意味を理解し、図形の性質を三角形の相似条件を用いて証明することができる。
	- 平行線と線分の比 - 平行線と線分の比 - 中点連結定理	(知) 平行線と線分の比についての性質や中点連結定理を理解し、線分の長さなどを求めることができる。 (思) 平行線と線分の比についての性質やその逆、中点連結定理を理解し、図形の性質を証明することができる。
11	- 相似な図形の計量 - 相似な図形の面積 - 相似な立体の表面積・体積	(知) 相似な図形や立体の相似比と面積比や、表面積比・体積比の関係を理解し、比の関係をj用いて図形や立体の求積ができる。 (思) 相似な図形や立体の相似比と面積比や、表面積比・体積比を調べ、それらの関係について考察し表現することができる。
	- 相似の利用 - 相似の利用	(知) 相似な図形の性質を活用して、図形の辺の比の関係を求めることができる。 (思) 具体的な場面において、相似な三角形を見つけ出し、直接測定できないような高さや距離を、縮図等を利用して求めることができる。
12	- 円周角と中心角 - 円周角と中心角 - 円周角の定理の逆	(知) 円周角と中心角の関係や、同じ弧に対する円周角の性質や、円周角の定理の逆の意味などを記号で表したり、それを用いて角の大きさを求めたりすることができる。 (思) 円周角と中心角の関係や、同じ弧に対する円周角の性質を見いだし、その証明にどのような図形の性質が用いられているか考察し表現することができる。また、円周角の定理の逆をもとに、異なるいくつかの点と同じ円周上にあるかを確認、表現することができる。
	- 円の性質の利用 - 円の性質の利用	(知) 具体的な場面で、円の性質を活用して、問題を解決する方法が理解できる。 (思) 円周角と中心角の関係や、円周角の定理の逆など、円の性質を具体的な場面で活用することができる。
1	- 直角三角形の3辺の関係 - 三平方の定理	(知) 直角三角形の辺の長さなどを求めることができる。 (思) 三平方の定理を見いだすことができる。
	- 三平方の定理の利用 - 三平方の定理の利用	(知) 三平方の定理を活用して問題を解決する方法について理解できる。 (思) 三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。

2	・標本調査 1. 標本調査の方法 2. 母集団と標本の関係 3. データを活用して、問題を解決しよう	(知) 標本調査の必要性和意味を理解し、具体的な場面で問題を解決する方法として理解できる。 (思) 調査の結果を批判的に考察し、簡単な場合において母集団の傾向を推測することができる。
---	---	--

※「主体的に学習に取り組む態度」については、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の指導を踏まえ、各単元全体を通して、

- [

 - ・学習内容の必要性和意味を考えようとしている。
 - ・学習内容について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
 - ・学習内容を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。

]
- の観点で評価する。

第1学年 理科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	自然事象に関心を持ち、科学的な見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行い、分析することなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然事象について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。〔知識及び技能〕 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自然事象に自ら進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる サイエンス 1 (啓林館)
副教材	理科の自主学習 (新学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
・ 定期・小テスト等 ・ パフォーマンス (技能) テスト ・ ノートやレポートの記述内容	・ 定期・小テスト等 ・ 発言内容 ・ ノートやレポートの記述内容	・ 小テスト等 ・ 授業の様子や発言内容 ・ ノートやレポートの記述内容 ・ 振り返り (自己・相互評価)

3 学習についてのアドバイス

学 校	・ 授業の『めあて』を意識しながら、授業に積極的に参加しましょう。 ・ 先生の問い・疑問・質問に対して、積極的に挙手して発表しましょう。 ・ これまでに学習した内容をいかして、自分なりの仮説や予想を立てましょう。 ・ 理科用語や器具の操作方法は、意味を理解した上で、活用できるようにしましょう。 ・ グループ活動には積極的に参加し、なかまの意見を聞いて自分の考えを深めましょう。 ・ 観察・実験では、結果をわかりやすくまとめ、仮説や予想と比較しながら、どんなことがわかったかを自分の言葉で表現しましょう。 ・ 学習した内容を『振り返り』、身のまわりの自然現象との関わりを考えましょう。
家 庭	・ 学習した内容で疑問に思ったことや興味をもったことは、自分で調べてみましょう。 ・ 学校で学んだことは、その日のうちにワークやi プリ等で復習をしましょう。 ・ 新聞やテレビ等を見て、自然現象や科学的事象に進んで関わしましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	自然の中にあふれる生命	・校庭の生物の観察を行い、いろいろな生物がさまざまな場所で生活していることを見いだす。 ・観察器具の操作や、観察記録のしかたを習得する。 ・さまざまな生物を比較して見いだした共通点や相違点をもとに、分類できることを理解する。 ・分類のしかたの基礎を習得する。 ・身近な生物を観察することで、生物に対する興味・関心を高める。
5	【生命】 いろいろな生物とその共通点 1章 植物の特徴と分類 2章 動物の特徴と分類	・身近な植物の観察を行い、観察記録などにもとづいて、さまざまな共通点や相違点があることを見いだす。 ・植物の体の基本的なつくりを理解する。 ・共通点や相違点をもとに、植物が分類できることを見いだす。 ・植物に対する興味・関心を高め、植物を観察するときのどのような点に注目すればよいかを考える。 ・身近な動物の観察を行い、その観察記録などにもとづいて、共通点や相違点があることを見いだす。 ・動物の体の基本的なつくりを理解する。 ・共通点や相違点をもとに、動物が分類できることを見いだす。 ・動物に対する興味・関心を高め、動物を観察するときのどのような点に注目すればよいかを考える。
6		
7	【エネルギー】 光・音・力による現象 1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象	・光の反射・屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだす。 ・凸レンズのはたらきについての実験を行い、物体の位置と像の位置・像の大きさや向きの関係を見いだす。 ・音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じること、音は波として空気中を約 340m/s の速さで伝わることを、音の大きさや高さは音源の振動のしかたに関係することを見いだす。 ・物体に力をはたらかせる実験を行い、物体に力がはたらくとその物体が変形したり、動き始めたり、運動のようすが変わったりすることを見いだす。 ・力は大きさと向きによって表されることを理解する。 ・2力のつり合いの実験を行い、1つの物体にはたらく2力がつり合う条件を見いだす。
9		
10		
11	【物質】 身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質 4章 物質の姿とその変化	・さまざまな方法で、身のまわりの物質の性質を調べる。 ・物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解する。 ・ガスバーナーや電子てんびんなどの実験器具の操作、記録のしかたなどの技能を身につける。 ・気体を発生させてその性質を調べる実験を行う。

12		・気体の種類による特性・特徴を理解する。 ・気体を発生させる方法・捕集法などの技能を身につける。 ・物質が水にとける際の水溶液の均一性を、粒子のモデルで理解する。 ・水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連づけて理解する。 ・物質の状態変化についての観察・実験を行い、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだす。 ・物質の融点や沸点を境に状態が変化することを知る。 ・混合物を加熱する実験を行い、沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだす。
1	【地球】 活きている地球 1章 身近な大地 2章 ゆれる大地 3章 火をふく大地 4章 語る大地	・身近な地形などの観察を通して、大地の成り立ちなどを理解する。 ・観察器具の基本的な扱い方を身につける。 ・地震計の記録から地震のゆれの特徴を理解し、記録の分析により地震のゆれの伝わり方の規則性を見いだす。
2		・地震の原因などをプレートの動きと関連づけて理解する。 ・さまざまな火山の活動などを調べ、その様子はマグマの性質が深く関係していることを考察するとともに、マグマからできる火成岩の特徴を、成因と関連づけて理解する。
3		・地層の重なり方や広がり方の規則性、構成する岩石や化石をもとに、地層が堆積した時代や当時の環境を推測する。 ・地層のでき方を理解する。 ・プレートと火山活動や地震などとの関連を総合的にとらえ、大地からの恵みや災害について理解する。

第2学年 理科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる サイエンス 2 (啓林館)
副教材	基礎をきずく 理科ノート 2年

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
・定期・小テスト等 ・パフォーマンス（技能）テスト ・ノートやレポートの記述内容	・定期・小テスト等 ・発言内容 ・ノートやレポートの記述内容	・小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・ノートやレポートの記述内容 ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・授業の『めあて』を意識しながら、積極的に学習活動へ参加しましょう。 ・これまでに学習した内容をいかして、仮説や予想を立てるようにしましょう。 ・理科学語や器具の操作方法は単に覚えるだけでなく、その意味を理解した上で、活用できるようにしましょう。 ・グループ活動には積極的に参加し、なかまの意見を聞いて自分の考えを深めましょう。 ・観察・実験では、結果をわかりやすくまとめ、仮説や予想と比較しながら、何がわかったかを自分の言葉で表現しましょう。 ・学習した内容を振り返り、身のまわりの自然現象や日常生活の中の出来事との関わりを考えるようにしましょう。
家 庭	・学習した内容で疑問に思ったことや興味をもったことは、自分で調べてみましょう。 ・継続的な学習ができるように、自分で計画を立てて実行できるようにしましょう。 ・学校で学んだことをワーク等で復習をすることで、確かな力にしましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	【生命】 生物の体とつくりとはたらき 1章 生物の体をつくるもの 2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ	・生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること、および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだし理解する。 ・植物の葉や茎、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散のはたらきに関する実験の結果とを関連づけて理解する。
5		・消化や呼吸、血液の循環についての観察・実験を行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを観察・実験の結果と関連づけて理解する。 ・不要となった物質を排出するしくみがあることを理解する。 ・動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、そのしくみを感覚器官、神経および運動器官のつくりと関連づけて理解する。・地表にあるもののすべてに大気圧がはたらいっていることを理解し、身のまわりの大気存在を認識する。
6	【粒子】 化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち 2章 物質の表し方 3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量	・身のまわりの物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できることを見い出す。 ・物質は原子や分子からできていることを認識する。 ・原子や分子は元素記号で表すことができることを知り、分子を化学式で示すことができる。
7		・化学式・化学反応式によって、物質の組成や化学変化を表すことができる。 ・2種類の物質が反応して結びつく実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見い出す。 ・さまざまな化学変化を原子・分子のモデルを用いて説明できるようにする。 ・さまざまな化学変化を化学反応式で表すことができる。 ・酸化と還元が同時に起きていることを見いだし、それらが日常生活にも多く利用されていることに気づく。 ・化学変化に伴う熱の出入りについて認識する。
9		・化学変化に関する物質の質量を測定する実験を行い、化学変化の前後では物質の質量の総和が等しいこと、および反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見い出す。 ・実験で得られた結果をグラフ化するなど、実験結果の処理についての技能を習得する。

10	【エネルギー】 電流とその利用 1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界	・回路の基本的な性質や、電圧と電流の関係について規則性を見いだす。 ・実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得する。 ・日常生活と関連づけながら静電気の性質について調べ、静電気と電流には関係があることを見だし、真空放電の実験から、電流の正体について理解する。 ・日常生活と関連づけながら、電流の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解し、直流と交流の違いを捉える。
11		
12		
1	【地球】 地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気の様子 2章 大気中の水の変化 3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季	身のまわりの大気の状態を継続的に観測させて、気象要素の変化と天気の変化の関係を見いだす。 ・霧や雲のでき方を、空気中の水の変化と関連づけて理解する。 ・地球上の水がさまざまな状態で存在し、霧、雲、雨や雪はその循環の一部であることを認識する。 ・気圧配置によって、大気の動きが生じることを理解する。 ・日本付近の高気圧や低気圧の移動と、それに伴う天気の変化を、地球規模の大気の動きの一部として捉える。 ・大陸と海洋の温度差によって生じる大気の動きが、日本の気象に影響を与えることを理解する。 ・日本付近で盛衰する3つの気団と関連づけながら、日本の四季の天気の特徴とそれが生じるしくみを理解する。
2		
3		

第3学年 理科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる サイエンス 3 (啓林館)
副教材	理科の自主学習

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
・ 定期・小テスト等 ・ パフォーマンス（技能）テスト ・ ノートやレポートの記述内容	・ 定期・小テスト等 ・ 発言内容 ・ ノートやレポートの記述内容	・ 小テスト等 ・ 授業の様子や発言内容 ・ ノートやレポートの記述内容 ・ 振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・ 授業の『めあて』を意識しながら、積極的に学習活動へ参加しましょう。 ・ これまでに学習した内容を生かして、仮説や予想を立てるようにしましょう。 ・ 理科用語や器具の操作方法は単に覚えるだけでなく、その意味を理解した上で、活用できるようにしましょう。 ・ グループ活動には積極的に参加し、なかまの意見を聞いて自分の考えを深めましょう。 ・ 観察・実験では、結果をわかりやすくまとめ、テーマを理解して仮説や予想と比較しながら、何がわかったかを自分の言葉で表現しましょう。 ・ 学習した内容を『振り返り』、身のまわりの自然現象や日常生活の中の出来事との関わりを考えるようにしましょう。
家 庭	・ 学習した内容で疑問に思ったことや興味をもったことは、自分で調べてみましょう。 ・ 継続的な学習ができるように、自分で計画を立てて実行できるようにしましょう。 ・ 学校で学んだことをワーク等ですぐに復習をすることで、確かな力にしましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	【生命】 生命の連続性 1章 生物のふえ方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化	・生物のふえ方には、無性生殖と有性生殖の2つがあることを見いだし、その違いを理解する。 ・種子から根がのびる様子の観察や、細胞分裂の観察を通して、生物の成長を細胞の分裂と関連づけて捉える。 ・有性生殖における減数分裂について理解する。 ・生物がふえていくとき、染色体にある遺伝子を介して親から子へ形質が伝わることや、そしてその伝わり方に規則性があることを理解する。
5		・現存の生物や化石の比較などを通して、現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じてきたものであることを体のつくりと関連づけて理解する。 ・生物の間のつながりを時間的に見ることを通して、進化の概念を身につける。
6	【粒子】 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩	・水溶液の電気伝導性を調べる実験を行い、水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見いだし、理解する。 ・電解質水溶液の電気分解の実験を行い、電極に物質が生成することからイオンの存在を見いだす。さらに、イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを理解する。
7		・金属によってイオンへのなりやすさに違いがあることを見いだし、イオンのモデルと関連づけて理解する。 ・電池を製作し、電池では化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを見いだす。 ・電池の基本的な仕組みが説明できる。 ・酸やアルカリの水溶液を用いた実験を行い、酸やアルカリのそれぞれの性質が水素イオンと水酸化物イオンによることを見いだす。 ・電離のようすをイオンのモデルを使って説明できる。 ・中和反応の実験により、酸とアルカリが反応すると塩と水ができることを見いだす。 ・中和反応をイオンのモデルを使って説明できる。
9	【エネルギー】 運動とエネルギー 1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用	・水中にある物体には浮力がはたらくことを見いだし、重力と浮力のつり合いの関係から、浮き沈みのしくみを理解する。 ・作図によって合力を求めることができる。 ・分力の求め方を理解する。 ・記録タイマーなどを使って、物体の速さや運動の様子を調べる方法を身につける。 ・物体にはたらく力と運動の関係を理解する。 ・仕事の定義を理解し、仕事の原理を見いだす。 ・仕事をする能力としてエネルギーを定義し、位置エネルギーや

10		運動エネルギーの大きさと、物体の高さや質量、速さとの関係を見いだす。 ・摩擦や空気の抵抗がなければ、力学的エネルギーが保存されることを理解する。
		・身のまわりのさまざまなエネルギーについて気づき、それらのエネルギーはどのように移り変わるか理解する。 ・エネルギーの総量は一定に保たれることを理解する。 ・人間は多様なエネルギー資源を消費して活動していることを知り、将来にわたってエネルギー資源を確保し、安全で有効な利用と環境保全をはかることの重要性を認識する。
11	【地球】 宇宙を観る 1章 地球から宇宙へ 2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方	・太陽の観察を行い、その観察記録や資料から、太陽の形や大きさ、表面の様子などの特徴を見いだし、理解する。 ・観測資料などから惑星と恒星の特徴や太陽系の構造を理解する。 ・太陽の表面を観察したり記録したりする技能を身につける。 ・太陽や星座の日周運動の観察を行い、天体の日周運動が地球の自転による相対運動であることを理解する。 ・季節ごとの星座の位置の変化や太陽の南中高度の変化を調べ、それらの観察記録を、地球が公転していることや地軸が傾いていることと関連づけて理解する。
12		・天体の動きを観察する技能を身につける。 ・月や金星の動きや見え方の観察を行い、月や金星の観察記録などから、見え方を月や金星の公転と関連づけて理解する。 ・月や金星の動きや形を観察したり記録したりする技能を身につける。
1	【環境】 自然と人間 1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用	・植物、動物および微生物を、栄養摂取の面から相互に関連づけて捉える。 ・自然界では、生物がつり合いを保って生活していることを、観察などを通して見いだし理解する。
2	と人間 3章 科学技術の発展	・日常生活や社会では、さまざまな物質が使用目的や用途に応じて使い分けられていることを認識し、物質を有効利用するためには、物質の再利用などが大切であることに気づく。
3	4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして	・科学技術の発展の過程について、どのようなものがあるかを理解し、さまざまな科学技術の利用が人間の生活を豊かで便利にしていることを認識する。 ・身近な自然環境や地域の自然災害を調べる活動を行い、人間の活動などのさまざまな要因が自然環境に影響をあたえていることについて理解し、自然環境を保全することの重要性を認識する。 ・科学技術の発展と人間生活との関わり方について多面的、総合的に捉え、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し、持続可能な社会をつくることの重要性を認識する。

第1学年 音楽科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目 標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2)音楽表現を創意工夫することや音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
教科書	中学生の音楽1(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)
副教材等	キミウタ(教育芸術社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の間を繋ぐ要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
・授業の様子や発言内容 ・授業における練習の様子 ・ペーパーテスト ・実技テスト(演奏・聴き取り等) ・ワークシート等への記述内容 ・作品やレポート - など		

3 学習についてのアドバイス

学 校	人は表現することで、自分と出会い、自分の心を収め、受け入れ、理解することができます。表現は自分自身との対話とも言えます。表現は言葉や声、身振り手振りや表情などで表し、自分を伝えるものです。 ・音楽の約束(音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など)を理解して、それらを生かして音楽の活動(歌唱、器楽、創作、鑑賞)に積極的に取り組みましょう。 ・曲の特徴やよさを理解して、ふさわしい表現(演奏)ができるよう工夫しましょう。 ・楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ・自分の声(音)だけでなく周りの声(音)をよく聴き、他者と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ・音のつながりに気をつけ、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ・作曲家や作詞者の思いや時代背景を知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ・ワークシートには、自分の思いや考え、感じたこと(感想)を書きましょう。
家 庭	・日常の生活において流れている音楽に耳を傾けましょう。 ・興味をもった曲の作曲家、音楽の特徴やその背景となる文化や歴史を自分で調べてみましょう。

4 題材・目標等について

月	題 材	題材の目標	教 材
1 学 期	思いをこめて合唱しよう	・思いを込めて明るい声で合唱しよう。 ・作者のメッセージを受け止め、思いをこめて合唱しよう。	その先へ My Voice!
	曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	・曲の構成を感じ取って歌おう。	主は冷たい土の中に
	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう	・音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。	春
	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	・リズムの種類や特性を理解し、それらを使って創作表現を楽しもう。	リズムゲーム・リズムアンサンブル・リズムチャレンジ
2 学 期	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	・パートの役割を感じ取って合唱しよう。 ・曲想を生かして合唱しよう。	合唱コンクールの曲
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	・曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう。	魔王
	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	・情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。 ・情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。	赤とんぼ（共通教材） 歌い継ごう 日本の歌
	日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう	・人々の暮らしの中から生まれた日本の民謡を聴こう。 ・アジア各地の音楽を聴こう。 ・声や音楽の特徴を生かして日本の民謡を歌おう。	日本の民謡 生活や社会の中の音楽 アジアの諸民族の音楽 ソーラン節
3 学 期	イメージと音楽との関わりを感じ取ろう	・イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう。 ・構成を工夫して、3つの場面の音楽をつくろう。	ジョーズのテーマ 指揮をしてみよう！ Let's Create!
	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	・日本に古くから伝わる箏の音楽を聴こう。 ・楽器の特徴や奏法について理解し、演奏を工夫しよう。	箏曲「六段の調」 虫づくし、姫松、 さくらさくら（箏）
	日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう	・日本に古くから伝わる合奏を聴こう。	雅楽「平調子 越天楽」
	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	・音のつながり方の特徴を生かして、旋律を作ろう。	My Melody
3 学 期	曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう	・曲の構成や曲想の変化を生かして合唱しよう。	心通う合唱 卒業式 式歌 国歌「君が代」・校歌

第2学年 音楽科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目 標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2)曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
教科書	中学生の音楽 2・3 上(教育芸術社)、中学生の器楽 (教育芸術社)
副教材等	キミウタ (教育芸術社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士に関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
・授業の様子や発言内容 ・授業における練習の様子 ・ペーパーテスト ・実技テスト (演奏・聴き取り等) ・ワークシート等への記述内容 ・作品やレポート		

3 学習についてのアドバイス

学 校	人は表現することで、自分と出会い、自分の心を収め、受け入れ、理解することができます。表現は自分自身との対話とも言えます。表現は言葉や声、身振り手振りや表情などで表し、自分を伝えるものです。 ・音楽の約束（音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など）を理解して、それらを生かして音楽の活動（歌唱、器楽、創作、鑑賞）に積極的に取り組みましょう。 ・曲の特徴やよさを理解して、ふさわしい表現（演奏）ができるよう工夫しましょう。 ・楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ・自分の声（音）だけでなく周りの声（音）をよく聴き、他者と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ・音のつながりに気をつけ、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ・作曲家や作詞者の思いや時代背景を知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ・ワークシートには、自分の思いや考え、感じたこと（感想）を書きましょう。
家 庭	・日常の生活において流れている音楽に耳を傾けよう。 ・興味をもった曲の作曲家、音楽の特徴やその拝見となる文化や歴史を自分で調べてみよう。

4 題材・目標等について

学期	題 材	題材の目標	教 材
1 学 期	曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	・ 拍にのって、響のある声で合唱しよう。	夢の世界を
	パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう	・ パートの役割を理解して合唱しよう。 ・ 音楽を形づくっている要素を学ぼう。	翼をください
	音の重なり方や反復、変化を理解して、創作表現を工夫しよう	・ 構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。	Let's Create! アルトリコーダー ラヴァースコンチェルト
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	・ 旋律が重なり合っていくおもしろさを味わおう。	フーガト短調
	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	・ 情景を思い浮かべながら、言葉を大切に して歌おう。 ・ 歌詞と旋律が生み出す雰囲気を感じながら歌おう。	夏の思い出（共通教材）
2 学 期	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	・ 歌詞と旋律の関わりを生かして合唱しよう。	大切なもの
	思いを込めて合唱しよう	・ 作者のメッセージを受け止め、思いを込めて合唱しよう。 ・ 自分たちの思いを込めて歌おう。	合唱コンクールの曲
	言葉の抑揚を生かして、創作表現を工夫しよう	・ 言葉の抑揚を生かして旋律をつくろう。	My Melody
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	・ 曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう。	交響曲第5番 ハ短調
	オペラに親しみ、その魅力を味わおう	・ オペラに親しみ、その音楽を味わおう。	「アイダ」から
3 学 期	楽器の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	・ 両手の運指に気をつけながら、吹き方を工夫しよう。	アルトリコーダー ふるさと
	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	・ 日本に古くから伝わる箏の音楽を聴こう。 ・ 楽器の特徴や奏法について理解し、演奏を工夫しよう。	箏曲「六段の調」 虫づくし、姫松 さくらさくら（箏）
	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	・ 曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌おう。	心通う合唱
	生活や社会の中の音楽について意識しながら歌おう。	・ 音や音楽が、私たちの暮らしにおいて果たす役割について生活や社会の中の音楽について意識しながら歌おう。	卒業式歌 国歌「君が代」・校歌 旅立ちの日に

第3学年 音楽科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目 標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2)曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
教科書	中学生の音楽 2・3 下(教育芸術社)、中学生の器楽 (教育芸術社)
副教材等	キミウタ (教育芸術社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・ 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・ 音楽を形づくっている要素や要素同士の間を認識し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したものとに関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・ 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
・ 授業の様子や発言内容 ・ 授業における練習の様子 ・ ペーパーテスト ・ 実技テスト（演奏・聴き取り等） ・ ワークシート等への記述内容 ・ 作品やレポート		

3 学習についてのアドバイス

学 校	人は表現することで、自分と出会い、自分の心を収め、受け入れ、理解することができます。表現は自分自身との対話とも言えます。表現は言葉や声、身振り手振りや表情などで表し、自分を伝えるものです。 ・ 音楽の約束（音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など）を理解して、それらを生かして音楽の活動（歌唱、器楽、創作、鑑賞）に積極的に取り組みましょう。 ・ 曲の特徴やよさを理解して、ふさわしい表現（演奏）ができるよう工夫しましょう。 ・ 楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ・ 自分の声（音）だけでなく周りの声（音）をよく聴き、他者と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ・ 音のつながりに気をつけ、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ・ 作曲家や作詞者の思いや時代背景を知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ・ ワークシートには、自分の思いや考え、感じたこと（感想）を書きましょう。
家 庭	・ 日常の生活において流れている音楽に耳を傾けよう。 ・ 授業等で興味をもった曲は、作曲家、音楽の特徴やその拝見となる文化や歴史を自分で調べてみよう。

4 題材・目標等について

学期	題 材	題材の目標	教 材
1 学 期	日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう	・情景を思い浮かべながら、言葉を大切に して合唱しよう。 ・詩や曲の背景を理解して歌おう。	花（共通教材） My Voice!
	オペラに親しみ、その魅力を味わおう	・オペラに親しみ、その音楽を味わおう。	歌劇「アイダ」から
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	・歌詞と旋律の関わりに注目して合唱し よう。 ・音楽を形づくっている要素を振り返ろ う。	きみとともに
	曲の構成を理解して、リズムアンサンブルの表現を工夫しよう	・音の特徴や重なりを感じてリズムアン サンブルをつくろう。	Let's Create!
2 学 期	全体の響きや各声部の役割を生かして、歌唱表現を工夫しよう	・作者のメッセージを受け止め、思いを込 めて合唱しよう。 ・声が響き合う美しさを味わいながら合 唱しよう。	合唱コンクールの曲 指揮をしてみよう！
	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	・作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を 味わおう。 ・楽器の音色に親しみながら、オーケスト ラの響きを味わおう。	ブルタバ（モルダウ） ボレロ
	西洋音楽史をたどってみよう	・西洋音楽史をたどり、これまでの鑑賞の 授業を振り返ろう	耳でたどる西洋音楽史
3 学 期	ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	・ポピュラー音楽を聴いて、そのよさを味 わおう。	ポピュラー音楽 ポピュラー音楽のジャンル 生活や社会の中の音楽
	我が国の伝統的な唱歌、童謡の美しさを謡おう	・詩や曲の背景を理解して、唱歌や童謡 を後世に伝えていこう	心の歌、日本の童謡
	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	・曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し て歌おう。	心通う合唱
	生活や社会の中の音楽について意識しながら歌おう。	・音や音楽が、私たちの暮らしにおいて果 たす役割について生活や社会の中の音 楽について意識しながら歌おう。	卒業式歌 国歌「君が代」・校歌 春風の中で

第1学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
教科書	美術1(日本文教出版)
副教材	美術資料(秀学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 - 意図に応じて表現方法を工夫して表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品

3 学習についてのアドバイス

学 校	- 自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 - 主題(自分の表したいこと)をもって制作に取り組みましょう。 - 主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 - 作品について感じたことを友達とじっくり話し合いましょう。 - 鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
家 庭	- 生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイディアを貯めておきましょう。 - いろいろなものをよく見ましょう。また、いつも見ているもの、身近なものでも、見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ということをしてみましょう。

4 主な題材・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学 期	○オリエンテーション ・美術との出会い ・中学校美術の世界へようこそ ○文字っておもしろい (デザイン) ・文字の基本(レタリング) ・絵文字 ○絵画制作の基本を知ろう (絵画) ・色彩の基本・仕組み ・鉛筆で描く	○美術科ではどのようなことを学ぶのかを知り、1年生で学ぶことや、3年間の学習の見通しをもつ。 ○イメージや伝えたい内容が相手に分かりやすく伝わるよう、形や色彩、構成を考え、材料や用具などを工夫して文字をデザインする。 ○レタリングの基本となる明朝体やゴシック体の描き方を理解する。 ○身近なところにあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色彩から受ける印象やその違いについて考える。 ○文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考えてデザインする。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について理解を深める。 ○基本の形や特徴を捉えて描き、明暗・立体感を表現する。 ○色相環など、色の基本や仕組みを理解する。
夏 休 み	○ポスターを描こう	○伝えたい情報やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと表現の工夫との調和を考えてデザインする。 ○材料の特性を生かして、意図に応じて工夫し、見通しを持って制作する。
2 学 期	○人間っておもしろい(絵画) ○遠近感を表そう(絵画)	○その人らしさが表れる表情やポーズ、しぐさなどを考えながらクロッキーを行う。 ○用具を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。 ○線遠近法の面白さに触れ、風景や空想画を描く際に効果的に活用できるように表現する。 ○色鉛筆の特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。
3 学 期	○折って、切って、巻いて (工芸)	○紙を折ったり、切ったり、巻いたりする活動から、美しい形を見いだす。 ○目的や条件を基に主題を生み出し、紙の特性を生かして制作する。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。

第2学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
教科書	美術2・3上、美術2・3下(日本文教出版)
副教材	美術資料(秀学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 - 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品

3 学習についてのアドバイス

学 校	- 自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 - 主題を考え、これまでに学習したことを活用して、制作に取り組みましょう。 - 主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 - 作品について感じたことを積極的に話し合いましょう。 - 鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
家 庭	- 生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイディアを貯めておきましょう。 - いつも見ているもの、身近なものでも見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ことをしてみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学 期	○オリエンテーション ・学びの実感と広がり・多彩な表現に挑むのはなぜだろう・あなたの美を見つけて・この教科書で学ぶみなさんへ ○つくって使って味わう工芸（工芸） ・篆刻 ○ルネサンスを知ろう（鑑賞）	2年生の美術科ではどのようなことを学ぶのかを知り、この1年で学ぶことや、これからの学習の見通しをもつ。 ○篆書体に興味を持ち、その美しさを生かしながら、デザインをする。 ○材料の持ち味や、使う場面などから主題を生み出し、持ち手のアイデアスケッチをする。 ○主題を基に、材料や用具の特性を生かしながら制作する。 ○互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。 ○ルネサンスのよさや特性などに関心を持ち、構図や色彩、作風や印象などを捉え、制作者たちの意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。
	○ポスターを描こう	○伝えたい情報やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと表現の工夫との調和を考えてデザインする。 ○材料の特性を生かして、意図に応じて工夫し、見通しを持って制作する。
2 学 期	○光を利用した作品を作ろう 樹脂粘土による立体作品（彫塑） ○印象派の画家たちが目指したもの	○自然光や人工的に作り出す光、またそれらによる影の様子などを鑑賞し、その効果や印象などについて感じたことを話し合う。 ○光が作り出す空間の美しさや使う場面などを基に主題を生み出す。 ○主題を基に、光の色や影の効果を考えながら制作する。 ○互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。るなど見方や感じ方を深める。 ○印象派の多様な表現を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことなどを話し合う。 ○作品を通して、作者の心情や表現の意図、創造的な工夫などを考え、発表し合う。 ○発表意見や教師の解説、自分の考えから現代美術のよさや美しさ、面白さなどについてまとめる。

3 学 期	○水と筆を操る（絵画） ・水墨画の表現 ○浮世絵はすごい（鑑賞）	○墨などで表すことに関心を持ち、表したいものやイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線などの効果を考えて表現の構想を練り、墨の特性を生かして創造的に絵で表す。 ○墨などの性質や技法に触れながら、表したいものやイメージから主題を生み出す。 ○主題を基に、濃淡や線などの効果を考えて造形的な表現の構想を練り、工夫して表す。創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。 ○浮世絵のよさや特性などに関心を持ち、構図や色彩、作風や印象などを捉え、制作者たちの意図と創造的な工夫、美術文化の継承とジャポニズムの表現の特色や時代背景などに関心を持ち、作品の特徴や日本美術の作風がどのように生かされているかなどを捉え、表現の特色や美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術を通した国際理解、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。
----------------------	--	--

第3学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
教科書	美術2・3上、美術2・3下(日本文教出版)
副教材	美術資料(秀学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 - 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品

3 学習についてのアドバイス

学 校	- 自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 - 主題を考え、1・2年生までに学習したことを活用して、制作に取り組みましょう。 - 主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 - 作品について感じたことを積極的に話し合いましょう。 - 鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
家 庭	- 生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイディアを貯めておきましょう。 - いつも見ているもの、身近なものでも見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ことをしてみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学 期	○オリエンテーション ・美を探し求めて ・夢をかたちにするデザイン ○私との対話（絵画） ○美術の歴史を見つめよう①（鑑賞）	3年生の美術科での学習内容を知り、3年間のまとめとしてどのようなものを制作していくか、これからの学習の見通しをもつ。 ○自分の姿や心の中を見つめて考えたこと、将来の夢などから主題を生み出し、構成や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して、創造的に絵や立体で表現する。 ○自分を見つめ自分の気持ちや性格、夢や思い出などについて考え、主題を生み出す。 ○主題を基に構図、色彩などを考え、自画像の構想を練る。 ○材料や用具表現方法を工夫して表現する。 ○作品を鑑賞し、作者の思いや意図、表現の工夫をなどについて考えを深める。 ○日本の美術の歴史を知り、作者の思いや工夫について考える。
2 学 期	○暮らしを心地よくするインテリア（工芸・デザイン） ○美術の歴史を見つめよう②（鑑賞）	○使う人や場所のことを考えた美しいデザインを鑑賞し、生活空間にもたらす変化や豊かさについて話し合う。 ○機能性と美しさや楽しさなどの視点から、形や色彩、材料などの効果を考え構想を練る。 ○材料や用具を生かし、耐久性や仕上がりの美しさ、手順などを総合的に考えて制作する。 ○作品を使ったり飾ったりして鑑賞し、作者の意図や表現の工夫を感じ取り、暮らしを豊かにするデザインの働きについて、感じたことや思ったことをレポートにまとめる。 ○友だちの作品を鑑賞し、その思いや意図、表現の工夫を感じ取り、話し合う。 ○日本の美術の歴史を知り、作者の思いや工夫について考える。
3 学 期	○魅力が伝わるパッケージ（デザイン）	○パッケージデザインの働きについて考え、その工夫点について話し合う。 ○多くの人に製品の魅力が伝わるようなパッケージを発想し、形や色彩の効果などを考え構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かし、制作の手順などを総合的に考え、見通しをもってパッケージのデザインをする。 ○作者の意図を考え、造形的な美しさなどを味わい、暮らしを豊かにするデザインについて話し合う。

第1学年 保健体育科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習活動を通して、心と体を一体として捉え、傷害にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成する。 【体育分野】 (1)運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践できるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。 【保健分野】 (1)個人生活における健康・安全について理解し、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
教科書	最新 中学校保健体育（大修館書店）
副教材等	中学体育実技（株式会社G a k k e n）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解している。 ・健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、個人生活を中心として科学的に理解している。 ・各領域の運動の特性に応じた基本的な技能や保健に関する基本的な技能を身に付けている。	・運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。 ・個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。 ・自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
・授業の様子や発言内容 ・学習カード、プリントの内容 ・定期テスト ・実技テスト	・授業の様子や発言内容 ・学習カード、プリントの内容 ・定期テスト ・実技テスト	・欠席、遅刻、見学日数 ・服装、頭髪等の参加態度 ・体操服、準備物の忘れ物 ・授業の様子や発言内容 ・学習カード等の内容

3 学習についてのアドバイス

学校	・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞き、自分に取り入れましょう。 ・どの学習活動も仲間と協力し、粘り強く取り組みましょう。 ・学習カード、振り返りは、この時間学んだことや次の時間の課題などを整理するようにしましょう。 ・ルールやマナーを守り、怪我や事故に気をつけ、安心・安全な活動につなげましょう。
家庭	・授業に入る前には、教科書等の内容を読むようにしましょう。 ・授業で学んだ健康や安全など保健に関わる知識や技能は、家庭でも活用するように心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	目標（学習を通して身に付ける力）
1 学 期	体づくり運動 集団行動、ラジオ体操 新体力テスト	・心や体との関係や心身の状態に気付き、仲間と積極的に関わり合う。 ・運動に積極的に取り組み、仲間の学習を援助しようとする。 ・健康・安全に気を配ることができる。 ・集団行動での基本的な行動の仕方を理解し行動できる。 ・持久力、柔軟性、筋力等の測定を行い、自己の課題に気付くことができる。
	陸上競技 ・短距離走・リレー	・滑らかな動きで速く走ることやバトンの受け渡しでタイミングを合わせることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。
	球技 ・ネット型 (バレーボール)	・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・積極的に取り組み、フェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなど、友達のプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助することなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	水泳	・クロール、背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・積極的に取り組み、ルールやマナーを守ろうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を守るなど健康・安全に気を配る。
	保健 健康の成り立ち、生活習慣と健康	・健康の成り立ちと疾病の発生要因、生活習慣と健康について理解する。 ・課題を発見し、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。
	体育理論	・運動やスポーツが多様であることについて、理解する。 ・運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 ・運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組む。
2 学 期	体育祭練習	・積極的に取り組み、よりよい記録ができるよう仲間と共に協力する。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて運動に取り組み方を工夫するとともに、自分や友達が考えたことを伝える。
	器械運動 ・マット運動	・回転系や功技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行ったり、それらを組み合わせたりすることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、よい演技を認めること、仲間を援助すること、仲間の課題に応じた課題や挑戦を認めることなどや、健康・安全に気を配る。
	球技 ・ベースボール型 (ソフトボール)	・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防ができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、フェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなど、友達のプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助する

		ることなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	ダンス	・【創作ダンス】多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊る。 ・【現代的なリズムのダンス】リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊る。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。
	保健 ・心身の機能の発達	・心身の機能について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすることができる。 ・課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。
	陸上競技 ・長距離走	・ペースを守って走ることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、勝敗などを認め、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ることができる。
3 学 期	球技 ・ゴール型 (バスケットボール、 ハンドボール)	・ボール操作と空間に走りこむなどの動きによってゴール前での攻防することができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、フェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、友達のプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助することなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	武道 ・剣道	・礼法の意味を理解し正しく行うことができる。気迫のこもった面打ちを行うことができる。防具を正しく装着することができる。 ・積極的に取り組み、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、友達の課題や挑戦を認めようとするなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配る。
	保健 ・心の健康	・心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすることができる。 ・課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。

※各運動領域において、その運動ならではの楽しさや喜びを味わい、特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解することも身に付ける力として含む。

第2学年 保健体育科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習活動を通して、心と体を一体として捉え、傷害にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成する。 【体育分野】 (1)運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践できるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。 【保健分野】 (1)個人生活における健康・安全について理解し、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
教科書	中学校保健体育（大修館書店）
副教材等	ステップアップ中学体育

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解している。 - 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、個人生活を中心として科学的に理解している。 - 各領域の運動の特性に応じた基本的な技能や保健に関する基本的な技能を身に付けている。	- 運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。 - 個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	- 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。 - 自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
- 授業の様子や発言内容 - 学習カード、プリントの内容 - 定期テスト - 実技テスト	- 授業の様子や発言内容 - 学習カード、プリントの内容 - 定期テスト - 実技テスト	- 欠席、遅刻、見学日数 - 服装、頭髪等の参加態度 - 体操服、準備物の忘れ物 - 授業の様子や発言内容 - 学習カード等の内容

3 学習についてのアドバイス

学校	- 先生の指示や友達の発言をしっかりと聞き、自分に取り入れましょう。 - どの学習活動も仲間と協力し、粘り強く取り組みましょう。 - 学習カード、振り返りは、この時間学んだことや次の時間の課題などを整理するようにしましょう。 - ルールやマナーを守り、怪我や事故に気をつけ、安心・安全な活動につなげましょう。
----	---

家庭	・授業に入る前には、教科書等の内容を読むようにしましょう。 ・授業で学んだ健康や安全など保健に関わる知識や技能は、家庭でも活用するように心がけましょう。
----	---

4 主な単元・教材及び目標

※目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	目標（学習を通して身に付ける力）
1 学 期	体づくり運動 集団行動、ラジオ体操 新体力テスト	・心や体との関係や心身の状態に気付き、仲間と積極的に関わり合う。 ・運動に積極的に取り組み、仲間の学習を援助しようとする。 ・健康・安全に気を配ることができる。 ・集団行動での基本的な行動の仕方を理解し行動できる。 ・持久力、柔軟性、筋力等の測定を行い、自己の課題に気付く。
	陸上競技 ・走り幅跳び ・走り高跳び	・力強い助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。 ・リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	球技 ・ネット型 （バレーボール）	・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、フェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなど、友達のプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助することなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	水泳	・クロール、背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫し、自分の考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、ルールやマナーを守ろうとすること、仲間の挑戦を認めようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を守るなど健康・安全に気を配ることができる。
	保健 ・傷害の防止	・傷害の防止について理解を深めるとともに、応急手当をすることができる。 ・課題を発見し、自他の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組むことができるようにする。
	体育理論	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解する。 ・自分の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 ・学習に積極的に取り組むことができるようにする。
2 学 期	体育祭練習	・積極的に取り組み、よりよい記録ができるよう仲間と共に協力する。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて運動に取り組み方を工夫するとともに、自分や友達が考えたことを伝える。 ・友達の動きを認め、話し合いに参加し、健康・安全に気を配る。
	球技 ・ベースボール型 （ソフトボール）	・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防ができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分の考えた

		ことを伝える。 ・積極的に取り組み、フェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、友達のプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助することなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	器械運動 (跳び箱)	・切り返し系や回転系の基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて跳び越すことができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、よい演技を認めること、仲間を援助すること、仲間の課題に応じた課題や挑戦を認めることなどや、健康・安全に気を配る。
	武道 ・剣道	・礼法の意味を理解し正しく行うことができる。気迫のこもった胴打ちを行うことができる。防具を正しく装着することができる。 ・積極的に取り組み、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、友達の課題や挑戦を認めようとするなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配る
	保健 ・健康と環境	・健康と環境について、理解する。 ・課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。
	陸上競技 ・長距離走	・ペースを守って走ることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ることができる。
3 学 期	球技 ・ネット型 (バドミントン、卓球)	・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、フェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、友達のプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助することなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	球技 ・ゴール型 (バスケットボール)	・ボール操作と空間に走りこむなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、フェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、友達のプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助することなどや、健康・安全に気を配ることができる。

※各運動領域において、その運動ならではの楽しさや喜びを味わい、特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解することも身に付ける力として含む。

第3学年 保健体育科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習活動を通して、心と体を一体として捉え、傷害にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成する。 【体育分野】 (1)運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践できるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。 【保健分野】 (1)個人生活における健康・安全について理解し、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
教科書	中学校保健体育（大修館書店）
副教材等	新しい体育実技（東京書籍）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法及び文化としてのスポーツの意義についての考え方を理解している。 ・健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について個人生活を中心として科学的に理解している。 ・運動の特性に応じた基本的な技能や保健に関する基本的な技能を身に付けている。	・生涯にわたって運動を豊かに実践するための自己や仲間の課題を発見し、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して、学習に主体的に取り組もうとしている。 ・自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。
・授業の様子や発言内容 ・学習カード、プリントの内容 ・定期テスト ・実技テスト	・授業の様子や発言内容 ・学習カード、プリントの内容 ・定期テスト ・実技テスト	・欠席、遅刻、見学日数 ・服装、頭髪等の参加態度 ・体操服、準備物の忘れ物 ・授業の様子や発言内容 ・学習カード等の内容

3 学習についてのアドバイス

学校	・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞き、自分に取り入れましょう。 ・どの学習活動も仲間と協力し、粘り強く取り組みましょう。 ・学習カード、振り返りは、この時間学んだことや次の時間の課題などを整理するようにしましょう。 ・ルールやマナーを守り、怪我や事故に気をつけ、安心・安全な活動につなげましょう。
家庭	・授業に入る前には、教科書等の内容を読むようにしましょう。 ・授業で学んだ健康や安全など保健に関わる知識や技能は、家庭でも活用するように心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	目標（学習を通して身に付ける力）
1 学 期	体づくり運動 集団行動、ラジオ体操 新体力テスト	・心や体との関係や心身の状態に気付き、仲間と積極的に関わり合う。 ・運動に積極的に取り組み、仲間の学習を援助しようとする。 ・健康・安全に気を配ることができる。 ・集団行動での基本的な行動の仕方を理解し行動できる。 ・持久力、柔軟性、筋力等の測定を行い、自己の課題に気付く。
	球技 ・ ネット型 （バレーボール）	・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・自分やチームの課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫し、自分や仲間の考えたことを伝える。 ・自主的に取り組み、フェアプレイを大切にしようということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということ、友達のプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全に気を確保することができる。
	陸上競技 ・ ハードル走	・リズミカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうということ、分担した役割を果たそうということ、仲間の課題や挑戦を認めようということなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	水泳	・学んできた泳法で、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・自分や仲間の課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・自主的に取り組み、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを守ろうということ、自分の責任を果たそうということ、仲間の課題や挑戦を大切にしようということなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。
	保健 ・ 健康の成り立ちと疾病の発生要因・生活習慣と健康	・健康の成り立ちと疾病の発生要因、生活習慣と健康について理解する。 ・課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。
2 学 期	保健 ・ 感染症の予防 ・ 健康を守る社会の取組	・感染症の予防、健康を守る社会の取り組みについて、理解する。 ・習得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択する。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組むことができるようにする。
	体育祭練習 球技 ・ ベースボール型 （ソフトボール）	・積極的に取り組み、よりよい記録ができるよう仲間と共に協力する。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて運動に取り組み方を工夫するとともに、自分や友達が考えたことを伝える。 ・友達の動きを認め、話し合いに参加し、健康・安全に気を配る。 ・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防ができる。 ・自分やチームの課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫し、自分や仲間の考えたことを伝える。 ・自主的に取り組み、フェアプレイを大切にしようということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということ、友達のプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全に気を確保することができる。

3 学 期	球技 ・ゴール型 (バスケットボール、サッカー)	・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 ・自分やチームの課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分や仲間の考えたことを伝える。 ・自主的に取り組み、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、友達のプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全に気を確保することができる。
	陸上競技 ・長距離走	・ペースを守って走ることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	保健 ・生活習慣病などの予防 ・がん教育	・生活習慣病などの予防について理解する。 ・自分の課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に粘り強く取り組むことができるようにする。
	球技 ・ネット型 (卓球、ソフトテニス、バドミントン)	・安定したボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・自分やチームの課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分や仲間の考えたことを伝える。 ・自主的に取り組み、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、友達のプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全に気を確保することができる。
	保健 ・喫煙・飲酒・薬物乱用と健康	・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について理解する。 ・自分の課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に粘り強く取り組むことができるようにする。
	体育理論	・文化としてのスポーツの意義について理解する。 ・自分の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 ・学習に自主的に取り組むことができるようにする。

※各運動領域において、その運動ならではの楽しさや喜びを味わい、特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解することも身に付ける力として含む。

第1学年 家庭科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）
副教材	技・家ノート（明治図書）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
・定期・小テスト等 ・パフォーマンス（技能）テスト ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・定期・小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・学習の記録（ノート等）は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・学習したことを、家庭で実践してみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

時間	主な単元・教材等	主な学習目標
1	家庭分野ガイダンス	・ワークシートや話し合いによって、これまでの自分を振り返る。 ・家庭科の学習が生活の自立や持続可能な社会の形成につながることに気づく。
4	1 目的に応じた衣服の選択	・衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ・自分らしい着方を工夫することができる。 ・和服と洋服の構成の違いを知る。和服の文化に関心を持ち、和服の着方を知る。 ・自分の衣服計画が立てられる。既製服を選ぶポイントがわかる。
5	2 日常着の手入れと保管	・衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり、適切な手入れができる。取り扱い表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの方法を選択できる。 - 衣服の素材に合った洗剤を選び、適切な量を使用できる。 - 衣服を適切に収納、保管できる。
7	3 生活を豊かにするものの制作	・布を用いて生活を豊かにするものを考えることができる。 ・制作の手順と要点を調べ、必要な用具と完成までの流れを理解できる。
1	4 持続可能な衣生活	・資源や環境に配慮した衣生活を送るために工夫できることを考える。
2	5 住まいのはたらきとこころよさ	・住まいの基本的な役割について理解する。 ・日本の伝統的な住まいの特徴を知る。 ・住まいの空間の使い方について理解し、自分の住まいを振り返る。 ・さまざまな生活によって、住まい方の工夫があることを理解し、家族がこころよく住むために、住まい方を工夫することができる。
3	6 安全な住まいで安心な暮らし	・家庭内の事故の種類とその原因を知る。 ・幼児や高齢者尾安全を考えた住まい方について工夫する。 ・地域のさまざまな災害に備えて、屋内を安全に整備する必要とその方法について理解する。

第2学年 家庭科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）
副教材	技・家ノート（開隆堂）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
・定期・小テスト等 ・パフォーマンス（技能）テスト ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・定期・小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・学習の記録（ノート等）は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・学習したことを、家庭で実践してみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

時間	主な単元・教材等		主な学習目標
7	1編1章 習慣 食事の役割と食	① 食事の役割 ② 健康に良い食習慣	・食事の役割について理解できる。
		③ 食生活の課題を見つけよう	・自分の食生活を振り返り、課題を見つけることができる。
		④ 栄養素の種類と働きを知ろう	・栄養素の種類と働きがわかる。
		⑤ 中学生に必要な栄養素について考えよう	・中学生の時期に必要な栄養の特徴を考えることができる。
5	2.章 中学生に必要な栄養を満たす食事	① 食品に含まれる栄養素を調べよう	・身近な食品の栄養的な特徴を調べることができる。
		②何をどのぐらい食べればよいか考えよう	・身近な食品を6つの食品群に分類することができる。 ・食品群別摂取量の目安と1日に必要な食品の種類と概量がわかる。
		② バランスの良い食事について考えよう	・必要な栄養素を満たす1日分の献立を考えることができる。
		④生鮮食品と加工食品の特徴を知ろう	・生鮮食品と加工食品の特徴について理解できる。。
		⑥ 食品の選択と購入について考えよう	・身近な食品の品質を見分けることができる。 ・食品を適切な方法で保存することができる。
3	3章 日常食の調理	① 日常食の調理をしよう ② 肉の調理を工夫しよう ③ 魚の調理を工夫しよう ④ 野菜の調理を工夫しよう ⑤ 地域の食材を生かした調理をしよう ⑥ より良い食生活を目指して	・安全と衛生に気を付けて、日常食の調理をすることができる。 ・食生活を取り巻く課題について考えることができる。

第3学年 家庭科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）
副教材	技術家庭総合ノート（明治図書）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
・ 定期・小テスト等 ・ パフォーマンス（技能）テスト ・ 授業の様子や発言内容 ・ 指導に対する成果物（レポート、作品等）	・ 定期・小テスト等 ・ 授業の様子や発言内容 ・ 指導に対する成果物（レポート、作品等）	・ 授業の様子や発言内容 ・ 指導に対する成果物（レポート、作品等） ・ 振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・ 学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・ 先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・ 目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・ 学習の記録（ノート等）は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	・ 教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・ 学習したことを、家庭で実践してみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

時間	主な単元・教材等		主な学習目標
3	1章 私たちの消費生活	①消費生活のしくみ	・自分の生活を振り返り、消費生活や環境との関わりについて考える。 ・自分や家族の消費生活を振り返り、適切な消費行動について点検する。 ・契約の意味について理解する。
		②消費生活における収入と支出	・具体的な買い物の場面を取り上げ、販売方法や支払い方法について考える。
		③いろいろな購入方法	・商品の選択、購入をするときに必要な情報を収集し、整理する。 ・商品の活用方法についても考える。
		④消費者被害と消費者の自立	・消費者に関わるトラブルなどの実際の例を取り上げ、その解決方法について考える。
		⑤消費者を支えるもの	・実際の消費生活と結びつけ、消費者の権利や責任について理解する。
		⑥消費者の権利と責任	・消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者を目指す。
2	2章 持続可能な社会	①消費行動が社会に与える影響	・購入を通して消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。
		②消費行動が環境に与える影響	・環境に配慮したライフスタイルを選択し、実践できる。
3	1章 自分の成長と家族・家庭	① 今の自分とこれまで	・自分の成長と、家族や地域の人びととのかかわりと、自分自身の理解を深める。
		② わたしの生活と家族・家庭	・家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。
		③ 家庭生活を支える社会	・自分や家族の生活は家庭内や家庭外の活動が支えている。
10	3	成長を振り返ろう	・自分の成長を振り返る。

		①幼い頃を振り返ろう	・自分の幼児期を振り返り、周囲の人との関わりに気づく。
		②幼児の体の発達	・幼児の体の発達の特徴について理解する。
		③幼児の心の発達	・幼児の心の発達の特徴について理解する。
		④ 発達にとってのおとなの役割	・幼児の生活習慣がどのように身についていくのか考える。 ・生活習慣の習得を支える家族の役割を考える。
		⑤ 遊びが必要なわけ	・幼児の1日の生活を知り、幼児にとっての遊びの意義について考える。 ・幼児の生活やいろいろな遊びを観察し、遊びで育つ力について考える。 ・遊び道具や遊び場所について調べ、遊び道具の役割や遊ぶ環境について考える。
		⑥ 遊びを支える環境	・幼児に合った接し方や遊びを工夫し触れ合う方法を考える。
		⑦ 幼児との関わり方についてまとめよう	・幼児との触れ合い活動を通して、学んだことを発表する。
		⑧子どもにとっての家族について考えよう	・子どもが育つ環境としての家族の役割を考える。
1	心章 家庭生活と地域のかかわり	①中学生にとっての家族について考えよう	・家族との関わりや、これからの自分の家庭生活について考える。 ・家族関係をよりよくする方法を考える。

第1学年 技術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を養う。 (1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	技術・家庭 技術分野（開隆堂）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解していると ともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
・定期、実技テスト等 ・ノート、ワークシートへの記述 ・授業の様子や発言内容	・定期、小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・ノート、ワークシートへの記述 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてプリントに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと（日常生活）に活かせるようにしましょう。 ・特別教室（技術室・PC室）を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。
家 庭	・学習した内容で分からない部分は復習をしておきましょう。 ・作図や作業の手順、機械や道具の名前、使い方のポイントなどをしっかりと確認しておきましょう。 ・家の手伝いを積極的に行い、学習した内容を活かそうと心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
9	・生物育成の技術についての基礎的・基本的な知識・技能	・作物、動物及び水産生物の成長、生態についての科学的な原理・法則について理解することができる。
10	・生物育成の技術による問題解決	・生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを理解することができる。
	・社会の発展と生物育成の技術	・安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる。 ・生物育成の技術の見方・考え方を活用し、問題を解決することができる。
11	・社会の発展と材料と加工の技術	・生活や社会に果たす役割や影響に基づいた生物育成の技術の概念を理解することができる。 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりすることができる。
	・情報についての基礎的・基本的な知識・技能	吉崎海岸のゴミの流着と、プラスチック問題を結びつけ、持続可能な社会における技術の適切な評価を行うことができる。
12 1	・ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	・情報の表現、記録、計算、通信などについての科学的な原理・法則の理解・情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティなどに関わる基礎的な技術の仕組みの理解することができる。
2 3	・計測・制御のプログラミングによる問題解決	・情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みの理解することができる。 ・安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等を行うことができる。
	・社会の発展と情報の技術	・情報の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだし課題を設定し解決することができる。

※生物育成について生物の育成状況に前後があるため、11月以降に行う情報の授業を9月より並行して行います。

第2学年 技術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を養う。 (1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	技術・家庭 技術分野（開隆堂）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
・定期、実技テスト等 ・ノート、ワークシートへの記述 ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・定期・小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・ノート、ワークシートへの記述 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてプリントに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと（日常生活）に活かせるようにしましょう。 ・特別教室（技術室・PC室）を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。
家 庭	・学習した内容で分からない部分は復習をしておきましょう。 ・作図や作業の手順、機械や道具の名前、使い方のポイントなどをしっかりと確認しておきましょう。 ・家の手伝いを積極的に行い、学習した内容を活かそうと心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	・材料と加工の技術による問題解決	・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査等を行うことができる。 ・コンピューター製図等の最新の技術に触れ、問題解決の方法が常に発展を続けていることに興味関心を持つことができる。 ・材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し解決することができる。
5		
6	・材料と加工の技術についての基礎的・基本的な知識・技能	・主な材料や加工についての科学的な原理・法則や材料の製造方法や成形方法などの基礎的な技術の仕組みの理解することができる。
7	・社会の発展と材料と加工の技術	
9	・エネルギー変換についての基礎的・基本的な知識・技能	・基本的な発電の方法を知り、社会における電気エネルギー事情を理解することができる。

第3学年 技術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を養う。 (1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	技術・家庭 技術分野（開隆堂）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
・定期・小テスト等 ・ノート、ワークシートへの記述 ・授業の様子や発言内容	・定期・小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・ノート、ワークシートへの記述 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてプリントに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと（日常生活）に活かせるようにしましょう。 ・特別教室（技術室・PC室）を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。
家 庭	・学習した内容で分からない部分は復習をしておきましょう。 ・作図や作業の手順、機械や道具の名前、使い方のポイントなどをしっかりと確認しておきましょう。 ・家の手伝いを積極的に行い、学習した内容を活かそうと心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
1 学 期	・エネルギー変換についての基礎的・ 基本的な知識・技能	・電気、運動、熱などについての科学的な原理・法則やエ ネルギーの変換や伝達などに関わる基礎的な技術の仕組 みの理解することができる。 ・発電方法の種類と簡単な原理に触れ、社会で利用され ている発電方法について、自分の考えを持つことができ る。 ・エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取るこ とができる。
	・エネルギー変換の技術による問題の 解決	・安全・適切な製作、実装、点検及び調整等を行うことが できる。 ・エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせて、問題 を見いだして課題を設定し 解決することができる。
2 学 期	・社会の発展とエネルギー変換の技術	・生活や社会に果たす役割や影響に基づいたエネルギー 変換の技術の概念を理解することができる。
3 学 期		・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、エネ ルギー変換の技術を評価し、適切に選択、管理・運用した り、新たな発想に基づいて改良、応用したりすることがで きる

第1学年 外国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	Here We Go! ENGLISH COURSE 1
副教材	エイゴラボ（正進社）、miki Notebook（浜島書店）、テストっち（正進社）

2 評価の観点及び方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
読むこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。

話すこと (やり取り)	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。
話すこと (発表)	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。
	・定期・単元テスト等 ・パフォーマンステスト ・授業様子や発言内容 ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート等）	・定期・単元テスト等 ・パフォーマンステスト ・授業様子や発言内容 ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート等）	・授業の様子や発言内容 ・パフォーマンステスト ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・間違えることを恐れずに、積極的に英語を使いましょう。 ・音読練習や会話練習などは、しっかり声を出して練習しましょう。 ・ペアやグループでの活動に意欲的に取り組みましょう。 ・授業だけでなく、授業以外の時間も積極的に YEF の先生に話しかけましょう。 ・単元終了時や定期テスト後に自分の理解度を振り返り、見直しをしましょう。
--------	---

家庭	・学習した内容は、その日にワークなどを活用して復習しましょう。
	・教科書の本文を、何度も音読しましょう。
	・言えるようになった英文を、ノートに書いて繰り返し練習しましょう。
	・テレビ、ラジオ、インターネット等を通して、英語に触れる機会を自主的に作りましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	Let's Be Friends!	・お互いの気持ちをたずね合ったり、会話を聞いて場面を考えたりすることができる。 ・好きな色、行きたい国、誕生日について聞き取ったり、話したり書いたりすることができる。 ・数を表す言葉を読んだり聞いたり言ったりすることができる。 ・アルファベットの太文字と小文字を聞いて書き取ることができる。 ・音とつづりの関係を考えて、基本的な単語を聞き取ったり言ったりすることができる。
	Unit 1 Here We Go!	・会話から、その人の情報を聞き取ることができる。 ・自己紹介カードに、自分の情報を書くことができる。
5	Daily Life 1 国際郵便	・海外宛ての送り状に、宛名や住所を書くことができる。
	Unit 2 Club Activities	・会話から、好みや得意なことなどを聞き取ることができる。 ・好きなことや得意なことなどについて、たずね合うことができる。
6	Unit 3 Enjoy the Summer	・インタビューから、したいことなどを聞き取ることができる。 ・夏休みにしたいことについて、アンケートを取ることができる。
	World Tour 1 世界の中学生	・世界の挨拶や、中学生の生活の様子を知ることができる。
7	Active Grammar 1 am、 are／一般動詞／can	・自分と相手のことを伝える言い方を理解し、使うことができる。
	You Can Do It! 1 自己紹介で共通点・相違点を見つけよう	・6人の中学生のプロフィールを読んで、共通点・相違点を見つけることができる。 ・自己紹介をし合い、お互いの共通点・相違点を見つけることができる。
9	Unit 4 Our New Friend	・人物紹介から、基本的な情報を聞き取ることができる。 ・身近な人などについて、基本的な情報を紹介することができる。
10	Unit 5 This Is Our School	・学校公開の案内状から、時間や場所などを読み取ることができる。 ・お気に入りの学校内の施設について、たずね合うことができる。
	Daily Life 2 落とし物	・落とし物の持ち主を探すやり取りができる。

	Active Grammar 2 代名詞	・代名詞の使い方を理解することができる。
11	Unit 6 Cheer Up、 Tina	・紹介文から、その人物が誰かを読み取ることができる。 ・身近な人の基本的な情報を伝える紹介文を書くことができる。
11	Active Grammar 3 is / 3人称単数現在形	・自分と相手以外のことを伝える言い方を理解し、使うことができる。
	Daily Life 3 カフェ	・飲食店で注文するやり取りができる。
	World Tour 2 世界の時刻	・日本と世界の時差について知ることができる。
	Active Grammar 4 疑問詞	・疑問詞を使ったいろいろな疑問文とその答え方を理解し、使うことができる。
12	Let's Read 1 What Am I?	・説明文から” I ” についての情報を読み取ることができる。
	You Can Do It! 2 「ドリームファミリー」を紹介しよう	・「ドリームファミリー」の紹介から、家族の情報を聞き取ることができる。 ・グループで考えた「ドリームファミリー」を紹介することができる。
1	Unit 7 New Year Holidays in Japan	・はがきから、出来事や感想などを読み取ることができる。 ・冬休みの出来事や感想などを伝えるはがきを書くことができる。
	Active Grammar 5 動詞の過去形	・一般動詞と be 動詞の過去形について理解し、使うことができる。
	Daily Life 4 ウェブサイト	・ウェブサイトから必要な情報を読み取ることができる。
2	Unit 8 Getting Ready for the Party	・写真の説明から、その場の状況を聞き取ることができる。 ・写真に状況を説明するキャプションを書くことができる。
	Active Grammar 6 現在進行形	・現在進行形について理解し、使うことができる。
	Daily Life 5 ラジオの中継	・ラジオの中継から現地の様子を聞き取ることができる。
	Let's Read 2 The Lion and the Mouse	・物語からあらすじを読み取ることができる。
3	You Can Do It! 3 学校行事の紹介ページを作ろう	・学校紹介のウェブサイトを読んで、自分たちの学校と同じところや違うところを見つけることができる。 ・グループで学校行事の紹介ページを作ることができる。
	Let's Read more My Japanese Lessons	・まとまった分量の英文の概要を読み取り、感想や意見をもつことができる。

第2学年 外国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	Here We Go! ENGLISH COURSE 2
副教材	エイゴラボ（正進社）、英語学習ノート（明治図書）、テストっち（正進社）

2 評価の観点及び方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
読むこと	〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。

話すこと (やり取り)	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。
話すこと (発表)	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。
	・定期・単元テスト等 ・パフォーマンステスト ・授業様子や発言内容 ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート等）	・定期・単元テスト等 ・パフォーマンステスト ・授業様子や発言内容 ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート等）	・授業の様子や発言内容 ・パフォーマンステスト ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・間違えることを恐れずに、積極的に英語を使いましょう。 ・音読練習や会話練習などは、しっかり声を出して練習しましょう。 ・ペアやグループでの活動に意欲的に取り組みましょう。 ・授業だけでなく、授業以外の時間も積極的に YEF の先生に話しかけましょう。 ・単元終了時や定期テスト後に自分の理解度を振り返り、見直しをしましょう。
--------	---

家庭	・学習した内容は、その日にワークなどを活用して復習しましょう。 ・教科書の本文を、何度も音読しましょう。 ・言えるようになった英文を、ノートに書いて繰り返し練習しましょう。 ・テレビ、ラジオ、インターネット等を通して、英語に触れる機会を自主的に作りましょう。
----	--

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	Unit 1 Hajin's Diary	・日記から、出来事や感想などを読み取ることができる。 ・日記に、出来事や感想などを書くことができる。
5	Active Grammar 1 動詞の過去形／過去進行形	・過去の出来事や状況などを伝える言い方を理解し、使うことができる。
	Unit 2 Basketball Tournament	・インタビューから、好きなことなどを聞き取ることができる。 ・好きなことやしたいことなどについて、たずね合うことができる。
6	Active Grammar 2 動名詞／不定詞＜名詞的用法＞	・「～すること」という言い方を理解し、使うことができる。
	Daily Life 1 電話	・電話で、何かを頼んだり応じたりすることができる。
	Unit 3 Plans for the Summer	・メールから、予定や希望などを読み取ることができる。 ・予定や希望などを伝えるメールを書くことができる。
	Active Grammar 3 be going to / will	・未来のことを伝える言い方を理解し、使うことができる。
7	Daily Life 2 アナウンス	・アナウンスから、必要な情報を聞き取ることができる。
	Let's Read1 Sukh's White Horse	・物語から、出来事の経過を読み取ることができる。
	World Tour 1 いろいろな単位	・日本とは異なる単位について知ることができる。
	You Can Do It! 1 わが町観光プランをおすすめしよう	・外国からの交換留学生の自己紹介文を読んで、2 人の興味関心があることを知ることができる。 ・2 人の興味関心に応じた観光プランを考えて発表することができる。
9	Daily Life 3 レストラン	・飲食店で、注文したり何かを依頼したりすることができる。
	Unit 4 Tour in New York City	・ガイドブックから、施設やできることなどを読み取ることができる。 ・施設やできることなどを言って場所を紹介することができる。
	Daily Life 4 道案内	・行き方をたずねたり教えたりする、道案内のやり取りができる。
10	Active Grammar 4 目的語	・動詞の目的語について理解し、使うことができる。
	Unit 5 Earthquake Drill	・説明から、どんなものかを聞き取ることができる。 ・防災バッグに入れるものを決める、話し合いをすることができる。
	Daily Life 5 イベントのお知らせ	・複数の掲示板から、自分が必要とする情報を読み取ることができる。
	Daily Life 6 体調不良	・体調をたずねたり、助言をしたりするやり取りができる。
11	Active Grammar 5 助動詞	・既習の助動詞を整理して理解し、使うことができる。

	Unit 6 Work Experience	・レポートから、職場で体験したことや感想などを読み取ることができる。 ・職場で体験したことや感想などを伝えるレポートを書くことができる。
	Active Grammar 6 不定詞＜形容詞的用法・副詞的用法＞	・不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を理解し、使うことができる。
	Active Grammar 7 接続詞	・既習の接続詞を整理して理解し、使うことができる。
12	Let's Read 2 Meet Hanyu Yuzuru	・インタビュー記事から、人物の経歴や思いを読み取ることができる。
	World Tour 2 世界を舞台に働く人	・世界で活躍する人たちについて知ることができる。
	You Can Do It! 2 職業診断のチャートを作ろう	・職業についてのコメントを読み、どの職業かを当てることができる。 ・職業診断のチャートを作り、職業診断のやり取りをすることができる。
1	Unit 7 Amazing Australia	・観光紹介の記事から、名所や特色などを読み取ることができる。 ・町の名所や名物などを伝える、紹介文を書くことができる。
2	Daily Life 7 観光案内	・音声案内から、おおまかな情報を聞き取ることができる。 ・観光案内情報から、必要な情報を読み取ることができる。
	Active Grammar 8 比較表現	・比較表現を理解し、使うことができる。
	Unit 8 Staging a Musical	・学級新聞から、作品紹介のおおまかな内容を読み取ることができる。 ・作者やおおまかな内容などを言って、好きな作品を紹介することができる。
	Active Grammar 9 受け身の文	・受け身の文について理解し、使うことができる。
3	Daily Life 8 音声ガイド	・音声ガイドから、絵画のおおまかな情報を聞き取ることができる。
	Let's Read 2 Emojis — from Japan to the World	・説明文から、絵文字の概要を読み取ることができる。
	World Tour 3 世界遺産めぐり	・いろいろな国の世界遺産について知ることができる。
	You Can Do It! 3 日本のおもしろいものを紹介しよう	・外国人旅行者のインタビューから、日本でおもしろいと思ったものを聞き取ることができる。 ・日本のおもしろいものを紹介するクイズをすることができる。
	Let's Read more 1 The Statue of Liberty	・紹介文から、自由の女神像の歴史や見どころを読み取ることができる。
	Let's Read more 2 Aboriginal Art	・アボリジナル・アートの紹介文を読んで、その歴史や特徴を読み取ることができる。

*1 学期中に英検 IBA を実施します。

第3学年 外国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	Here We Go! ENGLISH COURSE 3
副教材	エイゴラボ（正進社）、miki Notebook（浜島書店）、テストっち（正進社）

2 評価の観点及び方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
読むこと	〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。

話すこと (やり取り)	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。
話すこと (発表)	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。
	・ 定期・単元テスト等 ・ パフォーマンステスト ・ 授業様子や発言内容 ・ 指導に対する成果物（ノート、ワークシート等）	・ 定期・単元テスト等 ・ パフォーマンステスト ・ 授業様子や発言内容 ・ 指導に対する成果物（ノート、ワークシート等）	・ 授業の様子や発言内容 ・ パフォーマンステスト ・ 指導に対する成果物（ノート、ワークシート等） ・ 振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・ 間違えることを恐れずに、積極的に英語を使いましょう。 ・ 音読練習や会話練習などは、しっかり声を出して練習しましょう。 ・ ペアやグループでの活動に意欲的に取り組みましょう。 ・ 授業だけでなく、授業以外の時間も積極的に YEF の先生に話しかけましょう。 ・ 単元終了時や定期テスト後に自分の理解度を振り返り、見直しをしましょう。
--------	--

家庭	・学習した内容は、その日にワークなどを活用して復習しましょう。
	・教科書の本文を、何度も音読しましょう。
	・言えるようになった英文を、ノートに書いて繰り返し練習しましょう。
	・テレビ、ラジオ、インターネット等を通して、英語に触れる機会を自主的に作りましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	Unit 1 School Life Around the World	・学校紹介の記事から、日本の学校との違いを読み取ることができる。 ・読んだ記事について、意見を発表することができる。
5	Daily Life 1 ディスカッション	・話し合いから、それぞれの意見や最終的な結論を聞き取ることができる。
	Unit 2 Our School Trip	・会話から、おすすめの場所やしたことなどを聞き取ることができる。 ・おすすめの場所について、教え合うことができる。
6	Daily Life 2 留守番電話	・留守番電話の伝言を聞き、用件に応じたやり取りができる。
	Unit 3 Lessons from Hiroshima	・文章から、人物の経験や心情などを読み取ることができる。 ・読んだ文章について、感じたことなどを発表することができる。
	Active Grammar 1 現在完了形／現在完了進行形	・現在完了形と現在完了進行形を理解し、使うことができる。
7	Let's Read 1 From the Diary of Kawamoto Itsuyoshi	・日記から出来事や気持ちを読み取り、筆者について想像したことを伝え合うことができる。
	World Tour1 Living With Animals	・絶滅危惧種の現状やその原因について知ることができる。
	You Can Do It! 1 「現在」と「過去」の相違点を挙げよう	・町の歴史についての説明を聞いて、内容を理解することができる。 ・過去と現在の町の写真を比べて相違点を述べたり、50年後の町の変化を予想して述べたりすることができる。
9	Unit 4 AI Technology and Language	・投稿文から、それぞれの意見の要点を読み取ることができる。 ・読んだ投稿文について、感想や自分の意見を書くことができる。
10	Let's Read 2 Robots Makes Dreams Come True	・説明文の要旨を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。
	Daily Life 3 ポスター	・ポスターから、必要な情報を読み取ることができる。
	Unit 5 Plastic Waste	・プレゼンテーションから、話の流れを読み取ることができる。 ・読んだプレゼンテーションについて、感想や考えを伝え合うことができる。
11	Daily Life 4 ニュース	・ニュースを聞いて要点を捉え、おおまかな内容を説明する

		ことができる。
	Unit 6 The Chorus Contest	・絵の説明から、場面や状況を聞き取ることができる。 ・絵にふさわしいせりふを考えて発表することができる。
12	Active Grammar 2 後置修飾	・名詞の後ろに説明を追加する言い方を理解し、使うことができる。
	You Can Do It! 2 学校に必要なものを考えて意見を伝えよう	・2人の生徒の提案を読み、賛成か反対かを決めることができる。 ・どちらかの提案について、自分の意見と理由を伝え合うことができる。
1	Unit 7 Tina's Speech	・スピーチから、話し手がいちばん伝えたいことを聞き取ることができる。 ・今の自分の様子を伝える、スピーチをすることができる。
	World Tour 2 How Do We Live?	・世界を100人の村にたとえた文章から、世界の現状を知ることができる。
2	Let's Read 3 Changing the World	・スピーチから話し手の主張を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。
	Unit 8 Goodbye、 Tina	・手紙から、書き手のいちばん伝えたいことを読み取ることができる。 ・自分の気持ちを伝える手紙を書くことができる。
3	You Can Do It! 3 3年間を締めくくる言葉を考えよう	・単語を折り込んだ詩から、書き手の気持ちを読み取ったり表現の工夫に気づいたりすることができる。 ・好きな単語を折り込んだ詩を作ることができる。
	Let's Read more 1 The Runner Wearing Number 67	・1964年の東京オリンピックのエピソードから、選手の思いを読み取ることができる。
	Let's Read more 2 Visas for 6, 000 Lives	・杉原千畝の伝記から、彼の行動と意思を読み取ることができる。
	Let's Read more 3 The Adventure of Tom Sawyer	・「トム・ソーヤの冒険」の1節から、物語のおもしろさを味わったり人間の行動について考えたりすることができる。

*1 学期に英検 IBA を実施します。